

## 授業計画(シラバス)

科目名	実践行動学 I (就職実務)		指導担当者名	佐藤 雅之
実務経験	アパレルメーカー勤務実務経験10年			実務経験:
開講時期	前期(通年)	対象学科学年	ファッション学科 1年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
時間数(通年)	30時間(前後期合わせて)	週時間数	1時間	
学習到達目標	就職活動を始める前の準備			
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・活動状況等			
使用教材	SUCCESS			
授業外学習 の方法	学科授業を受けて、また、この授業を受けて将来自分のなりたい姿を常に考える事			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 前期	1	オリエンテーション	講師紹介 1-1 これからどう生きるのか(宿題として視聴)	
	2	就職活動の心構え身だしなみ	1-1宿題振り返り 1-2 一生でどのくらい稼げるのか	
	3	就職活動での身だしなみ	5-1~5-1(実践編) 身だしなみ	
	4	就職活動の流れ	学校でのルールと大学生、高校生、専門学校生の違い	
	5	職業を知る	圧迫面接	
	6	情報収集、企業研究、資料請求1	2-2(実践編) 業界マップの理解	
	7	情報収集、企業研究、資料請求2	2-3 業界ごとに必要な仕事内容を理解する	
	8	情報収集、企業研究、資料請求3	2-3(実践編) 業界ごとに必要な仕事内容を理解する	
	9	自分次死因を知る 自分史作成 1	1 3-4から3-6-2 ・3-4自己PRのネタを探す	
	10	自分次死因を知る 自分史作成 2	3-4から3-6-2 ・3-4-1自己PRのネタを探す(経験)	
	11	自分次死因を知る 自分史作成 3	3-4から3-6-2 ・3-4-2自己PRのネタを探す(特性)	
	12	自分次死因を知る 自分史作成 4	3-4から3-6-2 ・3-5自己PRの骨格を作る	
	13	自分次死因を知る 自分史作成 5	3-4から3-6-2 ・3-5自己PRの骨格を作る(実践編)	
	14	志望動機の作り方 1	3-7 業界、会社にあった動機作り	
	15	志望動機の作り方 2	3-7(実践編) 業界、会社にあった動機作り	
	16	自己PRの作り方1	3-7 業界、会社に合った自己PR 作り	
	17	自己PRの作り方2	3-7 業界、会社に合った自己PR 作り	
	18	自己PRの作り方3	3-7 業界、会社に合った自己PR 作り	
	19	中間テスト		
	20	履歴書作成	まとめ	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

## 授業計画(シラバス)

科目名	実践行動学 I (就職実務)		指導担当者名	佐藤 雅之
実務経験	アパレルメーカー勤務実務経験10年			実務経験:
開講時期	後期(通年)	対象学科学年	ファッション学科 1年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
時間数(通年)	30時間(前後期合わせて)	週時間数	1時間	
学習到達目標	就職活動を始める前の準備			
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・活動状況等			
使用教材	SUCCESS			
授業外学習 の方法	学科授業を受けて、また、この授業を受けて将来自分のなりたい姿を常に考える事			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画  後期	1	志望動機の作り方 1	3-7 業界、会社にあった動機作り	
	2	志望動機の作り方 2	3-7(実践編) 業界、会社にあった動機作り	
	3	作成書類 1	3-8・3-8(実践編)、加えて3-1~3-3(実践編)、3-6~3-6-2まで 履歴書、エントリーシート、添え状など 各種書類を書けるように、また、封筒の書き方、その他の書類(事務局の書類の手続き)、ポートフォリオなどの話しもしてください。*履歴書の完成	
	4	作成書類 2		
	5	作成書類 3		
	6	企業訪問	5-1.5-2 準備、当日、事後の指導をしてください	
	7	就職試験のマナー 1	5-2~5-3(実践編) 入退室	
	8	職試験のマナー 2	5-2~5-3(実践編) 面接試験対策1	
	9	職試験のマナー 3	5-2~5-3(実践編) 面接試験対策2	
	10	筆記試験対策 1	5-5.5-5(実践編) 筆記試験について、種類や方法を知る	
	11	筆記試験対策 2	特に小論文の書き方(内容は自己PRや志望動機をまとめる内容がよい)	
	12	筆記試験対策 3	特に小論文の書き方(内容は自己PRや志望動機をまとめる内容がよい)	
	13	企業研究1	求人票の見方・自分の希望する企業を調査	
	14	企業研究2	求人票の見方・自分の希望する企業を調査	
	15	企業研究3	求人票の見方・自分の希望する企業を調査	
	16	履歴書・面接試験	履歴書、入退室の確認は必須	
	17	履歴書・面接試験	履歴書、入退室の確認は必須	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

## 授業計画(シラバス)

科目名	ファッションビジネス論 I		指導担当者名	佐藤 雅之	
実務経験	アパレルメーカー勤務実務経験10年			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	ファッション学科 1年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数(通年)	60時間(前後期合わせて)		週時間数	3時間	
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファッションビジネス業界へ就職し、自らが希望する職種で活躍する際に必要な知識・技術を得させる</li> <li>・デザイン/マーケティング情報を駆使し、商品企画から商品生産、流通、販売促進などの専門知識と技術の習得</li> <li>・企画・創造力・洞察力等・総合的な能力を向上させる</li> <li>・ファッションビジネス検定取得を目指す</li> </ul>				
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席</li> <li>・授業態度</li> <li>・提出課題</li> <li>・中間試験</li> </ul> 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	テキスト 一般社団法人 日本ファッション教育振興協会 発行「ファッションビジネス[ I ]」、授業時間内の資料配布				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと ・授業内で行う例題(問題)の復習				
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>		
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	テキスト準備 「ファッション」とは、ファッションビジネス論 I で学ぶ内容を説明		
	2	ファッションビジネス知識 第1章 ファッションビジネスの概要	テキスト準備 ファッションビジネスの定義と特性、ファッションの語源と同意語 等		
	3	繊維ファッション産業の流れ	テキスト準備 繊維ファッション産業の流れ 等		
	4	繊維について	県内特有の繊維(川俣シルク)とは		
	5	課外授業	繊維工場の見学 / 織物体験(川俣シルク) / レポート作成・提出		
	6	第1章 例題(練習問題)	テキスト準備 練習問題の実施 / 解答・解説		
	7	第2章 ファッション消費と消費者行動	テキスト準備 消費者行動とファッション表現 等		
	8	ライフスタイルとファッション	テキスト準備 ライフスタイルとは 等		
	9	お客様の購買行動	テキスト準備 お客様・顧客 / 購買行動 等		
	10	第2章 例題(練習問題)	テキスト準備 練習問題の実施 / 解答・解説		
	11	第3章 アパレル産業と小売産業	テキスト準備 アパレル産業の概要 等		
	12	ファッション小売産業の概要	テキスト準備 小売企業とは / 百貨店 / 量販店 / 専門店 等		
	13	前中間試験範囲の復習 / 前期中間試験	テキスト / 試験問題 準備		
	14	中間試験フィードバック / 第3章 例題(練習問題)	テキスト準備 練習問題の実施 / 解答・解説		
	15	第4章 ファッションマーケティング	テキスト準備 マーケティングの基礎知識 / マーケットの意味 等		
	16	マーケティング上の分類方法	テキスト準備 ファッションマーケティングでのさまざまな分類 等		
	17	市場調査の基礎知識	テキスト準備 市場調査とマーケティングリサーチ 等		
	18	第4章 例題(練習問題)	テキスト準備 練習問題の実施 / 解答・解説		
	19	第5章 ファッションマーチャンダイジング	テキスト準備 マーチャンダイジング基礎知識 等		
	20	商品企画・生産・販売の流れ	テキスト準備 アパレル企業のマーチャンダイジング(MD) 等		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

## 授業計画(シラバス)

科目名	ファッションビジネス論 I		指導担当者名	佐藤 雅之	
実務経験	アパレルメーカー勤務実務経験10年			実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科 1年		
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数(通年)	60時間(前後期合わせて)		週時間数	3時間	
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファッションビジネス業界へ就職し、自らが希望する職種で活躍する際に必要な知識・技術を習得させる</li> <li>・デザイン/マーケティング情報を駆使し、商品企画から商品生産、流通、販売促進などの専門知識と技術の習得</li> <li>・企画・創造力・洞察力等・総合的な能力を向上させる</li> <li>・ファッションビジネス検定取得を目指す</li> </ul>				
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・中間試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する</li> </ul>				
使用教材	テキスト 一般財団法人 日本ファッション教育振興協会 発行「ファッションビジネス[ I ]」、授業時間内の資料配布				
授業外学習 の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと ・授業内で行う例題(問題)の復習</li> </ul>				
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>		
授業 計画  後 期	1	売場商品構成の基礎知識	テキスト準備	売場の商品構成 / 「品揃え」での商品分類 等	
	2	第5章 例題(練習問題)	テキスト準備	練習問題の実施 / 解答・解説	
	3	第6章 ファッション流通	テキスト準備	流通とは / 流通の役割と機能 等	
	4	ファッション小売企業の仕組みと業務	テキスト準備	単独店とチェーン専門店 等	
	5	第6章 例題(練習問題)	テキスト準備	練習問題の実施 / 解答・解説	
	6	第7章 ビジネス基礎知識	テキスト準備	会社に関する基礎知識 / 会社とは 等	
	7	企業の組織 / 企業会計 / 計数知識	テキスト準備	組織とは / 簿記 / 企業会計 / 計数の重要性 / 売上高	
	8	第7章 例題(練習問題)	テキスト準備	練習問題の実施 / 解答・解説	
	9	ファッション造形知識 第1章 デザインの定義と特性	テキスト準備	衣服の流れ / デザインとは 等	
	10	第1章 例題(練習問題)	テキスト準備	練習問題の実施 / 解答・解説	
	11	後期中間試験範囲の復習 / 後期中間試験	テキスト / 試験問題 準備		
	12	中間試験フィードバック / 第2章 ファッションコーディネート	テキスト準備	コーディネーションの基礎知識 / コーディネートとは 等	
	13	ファッションスタイリング / ファッション企業のスタイリング	テキスト準備	オケージョンとスタイリング / スタイリングとは / スタイリング提案 等	
	14	第2章 例題(練習問題)	テキスト準備	練習問題の実施 / 解答・解説	
	15	第3章 ファッション商品知識	テキスト準備	アパレル商品知識 / シルエットの知識 等	
	16	ディテールの知識 / サイズの知識	テキスト準備	ディテールとは / アパレルのサイズ 等	
	17	繊維の知識	テキスト準備	天然繊維 / 化学繊維 等	
	18	第3章 例題(練習問題)	テキスト準備	練習問題の実施 / 解答・解説	
	19				
	20				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

## 授業計画(シラバス)

科目名	カラーコーディネーター		指導担当者名	小池 久子
実務経験	色彩検定協会 認定講師歴 9年 / 色彩診断士歴 6年			実務経験:
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科 1年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)	週時間数	3時間	
学習到達目標	・色彩は、生活すべてにわたって大切な関わりを持っている。色に対する感覚だけで色彩をとらえるのではなく、基礎的な理論や体系的な知識を身に付けることが必要。そのため、色彩検定3級を受験し、その資格を取得することを目標とする。			
評価方法 評価基準	・出席状況・授業態度・中間試験・課題プリント・ミニテスト・意欲等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する			
使用教材	テキスト 株式会社 A・F・T企画 発行「色彩検定 公式テキスト3級編」、授業時間内の資料配布、配色カード			
授業外学習の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと ・授業内で行う過去問題の復習			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画  前期	1	オリエンテーション / 授業の進め方、評価方法について	テキスト / 課題プリント / 過去問題 準備 色の働き、色はなぜ見えるのか、色の性質と色 等	
	2	眼のしくみ	テキスト / 課題プリント / 過去問題 準備 色を見る眼のしくみ 等	
	3	混色	テキスト / 課題プリント / 過去問題 準備 混色とは何か? 等	
	4	色の分類と三属性 / PCCS色相	テキスト / 課題プリント / 過去問題 準備 色の分類 / 色の三属性 / 色相 等	
	5	PCCS明度 / 彩度 / トーン	テキスト / 課題プリント / 過去問題 準備 明度 / 彩度 / 三属性による色の表示 等	
	6	言葉による色表示	テキスト / 課題プリント / 過去問題 準備 色名 等	
	7	色の心理的効果	テキスト / 課題プリント / 過去問題 準備 暖色と寒色 / 膨張色と収縮色 等	
	8	色の心理的効果	テキスト / 課題プリント / 過去問題 準備 軽い色と重い色 / 色の連想と象徴 等	
	9	色の視覚効果	テキスト / 課題プリント / 過去問題 準備 負の残像 / 色対比 等	
	10	色の視覚効果	テキスト / 課題プリント / 過去問題 準備 同化効果 / 色陰現象 等	
	11	色の知覚的効果 / 配色の基本的な考え	テキスト / 課題プリント / 過去問題 準備 色の錯視 / なぜ配色の学習が必要なのか?	
	12	前期中間試験	試験問題準備	
	13	中間試験フィードバック / 色相から配色を考える	テキスト / 課題プリント / 過去問題 準備 色相に共通性がある配色 等	
	14	色相から配色を考える	テキスト / 課題プリント / 過去問題 準備 類似色相配色 等	
	15	色相から配色を考える	テキスト / 課題プリント / 過去問題 準備 色相にやや違いがある配色 等	
	16	色相から配色を考える	テキスト / 課題プリント / 過去問題 準備 色相に対照性がある配色 等	
	17	トーンから配色を考える	テキスト / 課題プリント / 過去問題 準備 トーンを手がかりにした配色 等	
	18	配色の基本的な技法	テキスト / 課題プリント / 過去問題 準備 アクセントカラー 等	
	19	色彩と構成	テキスト / 課題プリント / 過去問題 準備 図と地の関係 / バランス 等	
	20	色彩と構成	テキスト / 課題プリント / 過去問題 準備 コントラスト / プロポーション 等	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

## 授業計画(シラバス)

科目名	カラーコーディネート		指導担当者名	小池 久子
実務経験	色彩検定協会 認定講師歴 9年 / 色彩診断士歴 6年			実務経験:
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科 1年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)	週時間数	3時間	
学習到達目標	<p>・色彩は、生活すべてにわたって大切な関りを持っている。色に対する感覚だけで色彩をとらえるのではなく、基礎的な理論や体系的な知識を身に付けることが必要。そのため、色彩検定3級を受験し、その資格を取得することを目標とする。</p>			
評価方法 評価基準	<p>・出席状況・授業態度・中間試験・課題プリント・ミニテスト・意欲 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する</p>			
使用教材	<p>テキスト 株式会社 A・F・T企画 発行「色彩検定 公式テキスト3級編」、授業時間内の資料配布、配色カード</p>			
授業外学習 の方法	<p>・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと ・授業内で行う過去問題の復習</p>			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 後期	1	色彩と生活	テキスト / 課題プリント / 過去問題 準備 生活環境と色彩 等	
	2	ファッションと色彩	テキスト / 課題プリント / 過去問題 準備 ファッションコーディネートにおける色彩 等	
	3	ファッションと色彩	テキスト / 課題プリント / 過去問題 準備 トーンを主体としたカラーコーディネート 等	
	4	インテリアと色彩	テキスト / 課題プリント / 過去問題 準備 インテリアとは 等	
	5	インテリアと色彩	テキスト / 課題プリント / 過去問題 準備 インテリアにおける色の心理的効果 等	
	6	色彩検定対策	テキスト / 課題プリント / 過去問題 準備	
	7	色彩検定対策	テキスト / 課題プリント / 過去問題 準備	
	8	色彩検定答え合わせ	テキスト / 色彩検定問題 準備	
	9	色彩心理の集計	テキスト / 色彩検定問題 準備	
	10	パーソナルカラー	テキスト / 色彩検定問題 準備	
	11	中間試験	試験問題準備	
	12	中間試験フィードバック		
	13			
	14			
	15			
	16			
	17			
	18			
	19			
	20			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

## 授業計画(シラバス)

科目名	アパレルメイキング I		指導担当者名	遠藤 健一	
実務経験	アパレルメーカー 実務経験 5年			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	ファッション学科 1年	
授業方法	講義:	演習:◎	実習:○	実技:	
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)		週時間数	3時間	
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被服に関する総合的な知識と製作技術を習得する(ソーイングベーシック・パターンベーシック)</li> <li>・創造力と美的感性の開発を目指す</li> <li>・服飾造形の基礎知識から、それぞれの基本的な服種(アイテム)の「服作り」を通して、服飾全般の知識と応用を学ぶ</li> </ul>				
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・中間試験課題提出 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する</li> </ul>				
使用教材	テキスト 学校法人 文化学園 文化出版局 発行 『服飾造形の基礎「スカート・パンツ」「ブラウス・ワンピース」』				
授業外学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと ・授業内で行うパターンの作図や製作方法の復習</li> </ul>				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	オリエンテーション	テキスト準備	授業の進め方、評価方法	
	2	第1章 スカート スカートについて	テキスト準備	スカートとは / スカートの変遷 等	
	3	スカートの名称・デザイン・素材	テキスト準備	形態による名称と素材 等	
	4	スカートの機能性 / タイтスカート の作図	テキスト準備	動作による寸法の変化 等	
	5	デザイン展開と作図・パターン展開	テキスト準備	基本パターンからのシルエット展開 等	
	6	デザイン展開と作図・パターン展開	テキスト準備	タイトスローパー(原型作成)	
	7	デザイン展開と作図・パターン展開	テキスト準備	タイトスローパー(原型作成)	
	8	デザイン展開と作図・パターン展開	テキスト準備	タイトスローパー(原型作成)	
	9	スカート制作・1/4パターン	テキスト準備	スカートの基礎知識の習得	
	10	スカート制作・1/4パターン	テキスト準備	スカートの基礎知識の習得	
	11	スカート制作・実寸パターン	テキスト準備	部分縫いファスナー	
	12	スカート制作	テキスト準備	スカートの基礎知識の習得	
	13	スカート制作・発表	中間試験提出確認		
	14	シャツブラウス制作・1/4パターン	テキスト準備	シャツブラウスの基礎知識の習得	
	15	シャツブラウス制作・1/4パターン	テキスト準備	シャツブラウスの基礎知識の習得	
	16	シャツブラウス制作・実寸パターン	テキスト準備	シャツブラウスの基礎知識の習得	
	17	シャツブラウス制作	テキスト準備	部分縫いシャツカラー	
	18	シャツブラウス制作	テキスト準備	部分縫いシャツカラー	
	19	シャツブラウス制作 / 提出	テキスト準備	提出確認	
	20				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

## 授業計画(シラバス)

科目名	アパレルメイキング I	指導担当者名	遠藤 健一
実務経験	アパレルメーカー 実務経験 5年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科 1年
授業方法	講義:	演習:◎	実習:○ 実技:
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)	週時間数	3時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被服に関する総合的な知識と製作技術を習得する(ソーイングベーシック・パターンベーシック)</li> <li>・創造力と美的感性の開発を目指す</li> <li>・服飾造形の基礎知識から、それぞれの基本的な服種(アイテム)の「服作り」を通して、服飾全般の知識と応用を学ぶ</li> </ul>		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・中間試験課題提出 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する</li> </ul>		
使用教材	テキスト 学校法人 文化学園 文化出版局 発行 『服飾造形の基礎「スカート・パンツ」「ブラウス・ワンピース」』		
授業外学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと ・授業内で行うパターンの作図や製作方法の復習</li> </ul>		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	ワンピース制作・1/4パターン	テキスト準備 ワンピースの基礎知識の習得
	2	ワンピース制作・実寸パターン	テキスト準備 ワンピースの基礎知識の習得
	3	ワンピース制作・実寸パターン	テキスト準備 ワンピースの基礎知識の習得
	4	ワンピース制作	テキスト準備 ワンピースの基礎知識の習得
	5	ワンピース制作・発表	テキスト準備 提出確認
	6	スカート(裏)制作・1/4パターン	テキスト準備 裏地縫い代展開
	7	スカート(裏)制作・実寸パターン	テキスト準備 裏地縫い代展開
	8	スカート(裏)制作・実寸パターン	テキスト準備 裏地縫い代展開
	9	スカート(裏)制作	テキスト準備 スカート応用知識・技術の習得
	10	スカート(裏)制作	テキスト準備 スカート応用知識・技術の習得
	11	スカート(裏)制作・発表	テキスト準備 提出確認
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			



## 授業計画(シラバス)

科目名	ファッションコーディネートⅠ		指導担当者名	佐藤 雅之	
実務経験	アパレルメーカー勤務実務経験10年			実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科 1年		
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数(通年)	60時間(前後期合わせて)		週時間数	2時間	
学習到達目標	・戦後から今日まで様々な変化したファッションの歴史、ファッション・コーディネートの種類、ファッション・ビジネス、商品知識や企画の立て方など、スタイリストとしての基本的な知識、専門技術を理解させる				
評価方法 評価基準	・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・中間試験課題提出 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	テキスト 学校法人 文化学園 文化出版局 発行「スタイリスト&コーディネーターの条件」				
授業外学習の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 前期	1	第1章 これから必要とされるスタイリスト、コーディネーター	テキスト準備	ファッション概論 / ファッションとは 等	
	2	第1章 これから必要とされるスタイリスト、コーディネーター	テキスト準備	スタイリストとは / スタイリストの仕事の種類と分類 等	
	3	第1章 これから必要とされるスタイリスト、コーディネーター	テキスト準備	スタイリストの仕事 等	
	4	第1章 これから必要とされるスタイリスト、コーディネーター	テキスト準備	ウェディングプランナーとスタイリスト 等	
	5	第1章 これから必要とされるスタイリスト、コーディネーター	テキスト準備	ヘアメイクアップアーティスト 等	
	6	第1章 これから必要とされるスタイリスト、コーディネーター	テキスト準備	インテリアコーディネーター / カラリスト 等	
	7	第2章 色の知識と基本的な技術	テキスト準備	色の体系 / 色彩 / 色の効果 / 流行色とファッション情報 等	
	8	第3章 戦後ファッション概観	テキスト準備	着物文化から洋服文化へ 等	
	9	第3章 戦後ファッション概観	テキスト準備	経済高度成長期 マスプロ、マスセル 等	
	10	第3章 戦後ファッション概観	テキスト準備	経済低成長期 スタイリストの誕生(量から質へ)	
	11	第3章 戦後ファッション概観	テキスト準備	バブル経済 DCブランド～インポートブランド	
	12	第3章 戦後ファッション概観	テキスト準備	ラグジュアリーブランドの発展	
	13	第3章 戦後ファッション概観	テキスト準備	国際的な不況の時代 ファストファッション アジアの時代	
	14	中間テスト	テスト問題準備		
	15	中間テストフィードバック	テスト問題準備		
	16	第4章 ファッションコーディネート技術の必要性	テキスト準備	ファッションコーディネートの基本原理 等	
	17	第4章 ファッションコーディネート技術の必要性	テキスト準備	素材の組み合わせによるコーディネート 等	
	18	第4章 ファッションコーディネート技術の必要性	テキスト準備	イメージの組合せによるコーディネート	
	19	第4章 ファッションコーディネート技術の必要性	テキスト準備	ライフスタイルによるコーディネート	
	20				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

## 授業計画(シラバス)

科目名	ファッションコーディネートⅠ		指導担当者名	佐藤 雅之	
実務経験	アパレルメーカー勤務実務経験10年			実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科 1年		
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数(通年)	60時間(前後期合わせて)		週時間数	2時間	
学習到達目標	・戦後から今日まで様々な変化したファッションの歴史、ファッション・コーディネートの種類、ファッション・ビジネス、商品知識や企画の立て方など、スタイリストとしての基本的な知識、専門技術を理解させる				
評価方法 評価基準	・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・中間試験課題提出 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	テキスト 学校法人 文化学園 文化出版局 発行「スタイリスト&コーディネーターの条件」				
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>		
授業 計画  後 期	1	第5章 ファッション商品知識	テキスト準備	シャツ / ブラウス / ワンピース 等	
	2	第5章 ファッション商品知識	テキスト準備	ジャケット / コート / 帽子 等	
	3	第6章 ファッションビジネス	テキスト準備	マーチャンダイジングの定義 等	
	4	第6章 ファッションビジネス	テキスト準備	市場調査 / ショップリサーチの実例 等	
	5	第6章 ファッションビジネス	テキスト準備	マーケットセグメンテーション 等	
	6	第7章 ファッションショー	テキスト準備	ショーの目的 / ショーの会場と形態 / 舞台案 / 企画のポイント 等	
	7	第7章 ファッションショー	テキスト準備	コンセプト分析 / イメージ分析 / デザインの具体化 等	
	8	第7章 ファッションショー	テキスト準備	イメージとデザイン画 / モデル / プレス担当 等	
	9	第8章 ファッション心理学	テキスト準備	ファッション心理学とは 等	
	10	第9章 ファッションの専門用語	テキスト準備	アースカラー / アールデコ / アイコンショップ 等	
	11	第10章 ビジスマナーの基本知識	テキスト準備	身だしなみ / ヘアスタイルとメイクアップ 等	
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

## 授業計画(シラバス)

科目名	アパレルデザイン I		指導担当者名	村山 隆	
実務経験	イメージスタジオ代表デザイナー実務経験25年			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	ファッション学科 1年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)		週時間数	3時間	
学習到達目標	・アパレル企画に必要なillustrator photoshop の習得 (制作課題を通しアパレルメーカーの実践的な作業に取り組み、必要な内容、技術を身につけさせる。)				
評価方法 評価基準	・出席 ・授業態度 ・提出課題 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	テキスト 株式会社 技術評論社 発行 「Illustrator 操作とデザインの教科書」 / 「Photoshop 操作とデザインの教科書」				
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと ・授業内で行った操作の復習				
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>		
授業 計画 前期	1	プレゼンテーション	テキスト準備	年間の授業の内容、進め方等、他	
	2	ブランド立ち上げ / オリジナルブランドの企画書制作	テキスト準備	企画書のフォーム作成 コンセプト等	
	3	(課題1 ブランド名・ブランドロゴマーク 制作)	テキスト準備	ターゲット、市場背景、ニーズ等を考えオリジナルネーム。ロゴ、マークのデザインを作成	
	4	(課題2 ブランド名・ブランドロゴマーク 制作)	テキスト準備	文字アウトラインを使い、オリジナルデザインの表現 / アンカーポイント追加、削除使い方習得	
	5	(課題2 下げ札(大小)・衿ネーム(布帛/ニット)・ビスネーム制作)	テキスト準備	下げ札-表/裏-プライスカード作成 / 衿ネーム-平絵に縫い付けた状態で仕様	
	6	企画書制作	テキスト準備	企画書(ターゲット、市場背景、マーケット、ニーズ分析)等作成	
	7	(課題3 ショッピングバッグ(紙/ナイロン)の制作)	テキスト準備	ブランドイメージの統一	
	8	企画書制作	テキスト準備	企画書(ポジション)等作成	
	9	(課題4 ブランドイメージマップ制作・画像合成) 2ページ photoshop	テキスト準備	イメージ画像の収集、編集、解像度理解、投げ縄、マグネットツールの技術習得	
	10	画像編集・情報収集・取り込み	テキスト準備	合成技術の習得	
	11	企画書制作	テキスト準備	ターゲットイメージ等	
	12	企画書制作	テキスト準備	ターゲットイメージ等	
	13	(課題5 ブランドスタイリングマップ制作 5スタイル/背景イメージ画像)	テキスト準備	デザイン画書き方を学ぶ	
	14	スタイル画の雛形制作	テキスト準備	ペンツールのスピードアップと色付け技術習得	
	15	ブランドスタイリングマップ制作	テキスト準備	モデル(人物)の描き方(目、鼻、口、手等) / デザイン画の表現方法の習得	
	16	ブランドスタイリングマップ制作	テキスト準備	小物、靴、バッグ等、描き方の習得、オリジナルの表現	
	17	ブランドスタイリングマップ制作	テキスト準備	しわ、ドレープ、影等、描き方習得	
	18	ブランドスタイリングマップ制作	仕上げ		
	19	プレゼンテーション			
	20				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

## 授業計画(シラバス)

科目名	アパレルデザイン I	指導担当者名	村山 隆
実務経験	イメージスタジオ代表デザイナー実務経験25年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科 1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)	週時間数	3時間
学習到達目標	・アパレル企画に必要なillustrator photoshop の習得 (制作課題を通しアパレルメーカーの実践的な作業に取り組み、必要な内容、技術を身につけさせる。)		
評価方法 評価基準	・出席 ・授業態度 ・提出課題 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	テキスト 株式会社 技術評論社 発行 「Illustrator 操作とデザインの教科書」 / 「Photoshop 操作とデザインの教科書」		
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと ・授業内で行った操作の復習		
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>
授業 計画  後 期	1	(課題6 デザイン画(5体)各アイテムの平絵の落とし込み、小物、靴等も含む)	テキスト準備 小物、靴、バッグ等、描き方の習得、オリジナルの表現
	2	(課題6 デザイン画(6体)各アイテムの平絵の落とし込み、小物、靴等も含む)	テキスト準備 モデル(人物)の描き方(目、鼻、口、手等) / デザイン画の表現方法の習得
	3	平絵に落とし込み、BS(バックスタイル)デザイン画制作	テキスト準備 しわ、ドレープ、影等、描き方習得
	4	企画書制作	テキスト準備 デザイン力を身につける
	5	企画書制作	テキスト準備 デザイン力を身につける
	6	(課題7 着回し案制作)	テキスト準備 メッシュツール使用レクチャー
	7	(課題8 商品カタログ制作(基本フォーム作り))	テキスト準備 ペンツール使用・ディティール・シルエット
	8	(課題9 全アイテムのカタログ制作)	テキスト準備 ディティール(ステッチ・ドット・スリット)
	9	平絵の応用	テキスト準備 イメージアップの編集能力を習得する
	10	平絵の応用	テキスト準備 ぼかし・透明効果
	11	(課題10 展示会発注書制作)	テキスト準備 長方形ツール～マスク
	12	(課題11 店舗用在庫管理表制作)	テキスト準備 ディティール縫製仕様書
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

## 授業計画(シラバス)

科目名	メイク	指導担当者名	佐々木 美代子
実務経験	美容師実務経験18年		実務経験:
開講時期	前期	対象学科学年	ファッション学科 1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数	30時間	週時間数	2時間
学習到達目標	・ファッションに合わせたメイクの基礎を学ぶ		
評価方法 評価基準	・出席 ・授業態度 ・中間試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	メイク道具一式、学校作成プリント		
授業外学習 の方法	授業内でのメイク技術の復習、プリントの見直し		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	メイクの基本	プリント / メイク道具一式準備   メイクについて基本を知る
	2	メイクの基本	プリント / メイク道具一式準備   道具の使用法
	3	ファンデーション	プリント / メイク道具一式準備   肌に合わせた色を知る
	4	ファンデーション	プリント / メイク道具一式準備   肌に合わせた色を知る
	5	アイメイク	プリント / メイク道具一式準備   パーツに合わせた色の使い方
	6	アイメイク	プリント / メイク道具一式準備   パーツに合わせた色の使い方
	7	眉	プリント / メイク道具一式準備   顔に合わせた眉の位置
	8	眉	プリント / メイク道具一式準備   顔に合わせた眉の位置
	9	ファッションに合わせたメイク	プリント / メイク道具一式準備   アイメイク・アイブロー
	10	ファッションに合わせたメイク	プリント / メイク道具一式準備   チーク
	11	ファッションに合わせたメイク	プリント / メイク道具一式準備   全体のバランス
	12	中間テスト	実技テスト
	13	中間テストフィードバック / ファッションに合わせたメイク	プリント / メイク道具一式準備   全体のバランス
	14	ファッションに合わせたメイク	プリント / メイク道具一式準備   全体のバランス
	15	ファッションに合わせたメイク	プリント / メイク道具一式準備   色使いメイク
	16	ファッションに合わせたメイク	プリント / メイク道具一式準備   色使いメイク
	17	季節に合わせたメイク	プリント / メイク道具一式準備   全体のバランス
	18	季節に合わせたメイク	プリント / メイク道具一式準備   全体のバランス
	19	季節に合わせたメイク	プリント / メイク道具一式準備   全体のバランス
	20	まとめ	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

## 授業計画(シラバス)

科目名	接客マナー		指導担当者名	水野 直美
実務経験	秘書・キャビンアテンダント実務経験10年			実務経験:
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科 1年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
時間数(通年)	60時間(前後期合わせて)		週時間数	2時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手に満足を提供する行動「接客」を学ぶ</li> <li>・ビジネスの場でのサービス接客というものの具体的な考え方、行動の仕方、口の利き方などを学ぶ</li> <li>・サービス接客実務検定3級の合格を目指す</li> </ul>			
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席</li> <li>・授業態度</li> <li>・提出課題</li> <li>・中間試験</li> </ul> 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する			
使用教材	テキスト 早稲田教育 出版「サービス接客検定3級」、授業時間内の資料配布			
授業外学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと</li> <li>・授業内で行う練習問題の復習</li> </ul>			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	テキスト / プリント 準備 サービススタッフの基本を考える	
	2	一般常識	テキスト / プリント 準備 尊敬語 / 謙譲語 / 丁寧語の使い分け	
	3	一般常識	テキスト / プリント 準備 尊敬語 / 謙譲語 / 丁寧語 確認テスト / フィードバック	
	4	サービススタッフの資質 必要とされる要件	テキスト / プリント 準備 明るさと誠実さを、備えている	
	5	サービススタッフの資質 必要とされる要件	テキスト / プリント 準備 適切な判断と表現を、備えている	
	6	サービススタッフの資質 必要とされる要件	テキスト / プリント 準備 身だしなみを心得ている	
	7	確認テスト	テキスト / 確認テスト 準備 確認テスト / フィードバック	
	8	サービススタッフの資質 従業要件	テキスト / プリント 準備 良識を持ち、素直な態度がとれる	
	9	サービススタッフの資質 従業要件	テキスト / プリント 準備 適切な行動と協調性が期待できる	
	10	サービススタッフの資質 従業要件	テキスト / プリント 準備 清潔感について、理解できる	
	11	サービススタッフの資質 従業要件	テキスト / プリント 準備 忍耐力のある行動が期待できる	
	12	確認テスト	テキスト / 確認テスト 準備 確認テスト / フィードバック	
	13	前期中間試験	試験問題 準備	
	14	中間試験フィードバック	テキスト / 期末試験問題 準備	
	15	専門知識 サービス知識	テキスト / プリント 準備 サービスの意義を、一応、理解できる	
	16	専門知識 サービス知識	テキスト / プリント 準備 サービスの機能を、一応、理解できる	
	17	専門知識 サービス知識	テキスト / プリント 準備 サービスの種類を知っている	
	18	専門知識 従業知識	テキスト / プリント 準備 商業用語が理解できる	
	19	専門知識 従業知識	テキスト / プリント 準備 経済用語が理解できる	
	20	確認テスト	テキスト / 確認テスト 準備 確認テスト / フィードバック	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

## 授業計画(シラバス)

科目名	接客マナー		指導担当者名	水野 直美
実務経験	秘書・キャビンアテンダント実務経験10年			実務経験:
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科 1年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
時間数(通年)	60時間(前後期合わせて)		週時間数	2時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手に満足を提供する行動「接客」を学ぶ</li> <li>・ビジネスの場でのサービス接客というものの具体的な考え方、行動の仕方、口の利き方などを学ぶ</li> <li>・サービス接客実務検定3級の合格を目指す</li> </ul>			
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席</li> <li>・授業態度</li> <li>・提出課題</li> <li>・中間試験</li> </ul> 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する			
使用教材	テキスト 早稲田教育 出版「サービス接客検定3級」、授業時間内の資料配布			
授業外学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと</li> <li>・授業内で行う練習問題の復習</li> </ul>			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画  後 期	1	一般知識 社会常識	テキスト / プリント 準備 社会常識が理解できる	
	2	一般知識 社会常識	テキスト / プリント 準備 時事問題を、一応、理解している	
	3	確認テスト	テキスト / 確認テスト 準備 確認テスト / フィードバック	
	4	対人技能 人間関係	テキスト / プリント 準備 一般的に、人間関係が理解できる	
	5	対人技能 接客知識	テキスト / プリント 準備 対人心理が理解できる	
	6	対人技能 接客知識	テキスト / プリント 準備 一般的なマナーを心得ている	
	7	対人技能 接客知識	テキスト / プリント 準備 接客者としてのマナーを心得ている	
	8	対人技能 話し方	テキスト / プリント 準備 接客用語を知っている	
	9	対人技能 話し方	テキスト / プリント 準備 接客者としての基本的な話し方が理解できる	
	10	対人技能 話し方	テキスト / プリント 準備 提示、説明の仕方が理解できる	
	11	対人技能 服装	テキスト / プリント 準備 接客者としての適切な服装が理解できる	
	12	後期中間試験	試験問題 準備	
	13	中間試験フィードバック	テキスト / 期末試験問題 準備	
	14	実務技能 問題処理	テキスト / プリント 準備 問題処理について、理解できる	
	15	実務技能 環境整備	テキスト / プリント 準備 環境整備について、理解できる	
	16	実務技能 金品管理	テキスト / プリント 準備 金品管理について、理解できる	
	17	実務技能 社交業務	テキスト / プリント 準備 社交儀礼の業務について、理解できる	
	18	接客マナーのまとめ	テキスト / プリント 準備 練習問題の実施	
	19			
	20			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

## 授業計画(シラバス)

科目名	VMD I		指導担当者名	市川 美佳	
実務経験	デザイン会社制作業務 実務経験10年			実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科 1年		
授業方法	講義:	演習:◎	実習:○	実技:	
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)		週時間数	3時間	
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商空間、売り場空間の活性化を図る、流通の場で重要な手段となる視覚表現を重視した戦略・戦術であるVMDを学ぶ</li> <li>・幅広い知識と造形力、感性、時代情報を基に、専門知識・技術、アイデア、クリエイション、デザインで総合的な空間演出を学ぶ</li> </ul>				
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・中間試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する</li> </ul>				
使用教材	テキスト 学校法人 文化学園 文化出版局 発行「ディスプレイ・VP・VMD」、授業時間内の資料配布				
授業外学習 の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと</li> <li>・いろいろなショップのディスプレイを見ておく</li> </ul>				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画  前期	1	オリエンテーション / ディスプレイ・VP・VMD概論	テキスト準備	ディスプレイ・VP・VMDとは 等	
	2	ディスプレイ・VP・VMD概論	テキスト準備	ディスプレイ素材 等	
	3	照明 / 色彩	テキスト準備	光の基礎 / 色彩の基礎 等	
	4	色彩	テキスト準備	販売促進計画とテーマカラー / 流行色 等	
	5	什器、器具、マネキン、ボディ、プロップス、オブジェ	テキスト準備	什器、器具とは 等	
	6	VMDマップ演習	テキスト / PC 準備	マップ作製	
	7	商品知識	テキスト準備	アパレルアイテムの種類 等	
	8	用語と表示記号	テキスト準備	用語 / 表示記号 等	
	9	ビジュアルプレゼンテーションテクニック 基礎	テキスト準備	用具の種類とその使い方 / 構図・構成 等	
	10	ディスプレイ演習(準備)	テキスト準備	学校内のディスプレイのイメージ / 構図・構成 等	
	11	ディスプレイ演習	テキスト準備	学校内のディスプレイ 等	
	12	前期中間試験	試験問題準備		
	13	中間試験フィードバック / VPテクニック ショーイング	テキスト準備	ショーイングとは 等	
	14	ショーイング / 基礎テクニック / 応用テクニック	テキスト準備	フォールデッド / レイダウン 等	
	15	ライフスタイルと空間構成	テキスト準備	タウンウェア / スポーツウェア / フォーマルウェア 等	
	16	メンズウェア / キッズウェア	テキスト準備	メンズボディのウェアリングポイント 等	
	17	VP基礎テクニック ピンワーク	テキスト準備	ピンワーク / 基礎テクニック 等	
	18	ピンワーク演習	テキスト / ボディ 準備	ドレープ(土台布のつけ方) 等	
	19	ピンワーク演習	テキスト / ボディ 準備	ドレープ / ギャザリング 等	
	20	ピンワーク演習	テキスト / ボディ 準備	ギャザリング / タッキング 等	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					



## 授業計画(シラバス)

科目名	VMD I	指導担当者名	市川 美佳
実務経験	デザイン会社制作業務 実務経験10年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科 1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)	週時間数	3時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商空間、売り場空間の活性化を図る、流通の場で重要な手段となる視覚表現を重視した戦略・戦術であるVMDを学ぶ</li> <li>・幅広い知識と造形力、感性、時代情報を基に、専門知識・技術、アイデア、クリエイション、デザインで総合的な空間演出を学ぶ</li> </ul>		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・中間試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する</li> </ul>		
使用教材	テキスト 学校法人 文化学園 文化出版局 発行「ディスプレイ・VP・VMD」、授業時間内の資料配布		
授業外学習 の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと</li> <li>・いろいろなショップのディスプレイを見ておく</li> </ul>		
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>
授業 計画  後 期	1	VP応用テクニック	テキスト準備 布地のたたみ方 / ウール / チュール 等
	2	アパレルアイテムピンワーク	テキスト準備 スーツ / パンツ+ジャケット / ワンピース 等
	3	アパレルアイテムピンワーク	テキスト準備 パンツ / パンツスーツ / ジャケット+スカート 等
	4	ゆかた / 民族衣装から	テキスト準備 サリータイプ / カンガタイプ / パレオタイプ 等
	5	メンズ素材の扱い / 広告・宣伝・販促としてのピンワーク	テキスト準備 異素材 / 造形的なピンワーク 等
	6	VPデザイン:販売促進	テキスト準備 クリスマスギフト / ラッピングとリボンの掛け方・結び方 等
	7	VPデザイン:販売促進	テキスト準備 クリスマスギフト / ラッピングとリボンの掛け方・結び方 等
	8	VPデザイン / ディスプレイ演習(準備)	テキスト準備 クリスマスディスプレイのイメージ / 構図・構成 等
	9	ディスプレイ演習	テキスト準備 学校内のクリスマスディスプレイ
	10	後期中間試験	試験問題準備
	11	中間試験フィードバック / ラッピング検定 対策	テキスト準備 ラッピングとリボンの掛け方・結び方 等
	12	ラッピング検定 対策	テキスト準備 ラッピングとリボンの掛け方・結び方 等
	13	VPテクニック インテリア関連・生活雑貨関連	テキスト準備 観葉植物 / ウインドートリートメント 等
	14	テーブルウェア	テキスト準備 テーブルセッティング / 食器 等
	15	キッチンウェア	テキスト準備 フォーピークスのたたみ方 等
	16	タオル、バス・トイレタリー	テキスト準備 タオルの基礎テクニックと構成 等
	17	VPテクニック インテリア関連・生活雑貨関連	テキスト準備 化粧品 / ステーションナリー / クリーングッズ / ガーデニンググッズ
	18	ディスプレイ・VP・VMDの実際	テキスト準備 ディスプレイ・VP(ウインドーディスプレイ)
	19		
	20		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

## 授業計画(シラバス)

科目名	ITリテラシー		指導担当者名	村山 隆
実務経験	イメージスタジオ代表デザイナー実務経験25年			実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科 1年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:
時間数(通年)	60時間(前後期合わせて)		週時間数	2時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコンの基礎となるWindows10の使い方を学ぶ</li> <li>・Word、Excel、PowerPointの基礎知識・技術を学ぶ</li> </ul>			
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席</li> <li>・授業態度</li> <li>・提出課題</li> <li>・中間試験</li> </ul> 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する			
使用教材	テキスト 実務出版株式会社 発行「30時間でマスターOffice2016」、パソコン			
授業外学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと</li> <li>・授業内で行うパソコン操作の復習</li> </ul>			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 前期	1	パソコン操作の基礎	テキスト準備	パソコンのキーの名称とその機能 等
	2	Windows10の基礎	テキスト準備	Windows10とは / Windows10の起動 / 終了 等
	3	Microsoft Edge	テキスト準備	Microsoft Edgeとは / インターネットとWWW 等
	4	Microsoft Edge	テキスト準備	Webページを見る / 知りたい情報と見つけるには 等
	5	Microsoft Edge	テキスト準備	インターネットを安全に利用するために 等
	6	Word2016	テキスト準備	Word2016とは / クイックアクセスツールバー 等
	7	Word2016	テキスト準備	文字の入力 / 文章の入力 / 入力の訂正 等
	8	Word2016	テキスト準備	ファイルの保存と読み込み / 文章の印刷 等
	9	Word2016	テキスト準備	文書の作成 / 文字の拡大・縮小 等
	10	Excel2016	テキスト準備	Excel2016とは / 画面構成 等
	11	Excel2016	テキスト準備	データ入力の基礎 / 基本的なワークシート編集 等
	12	Excel2016	テキスト準備	小数点とセルの参照 / 行の挿入 等
	13	Excel2016	テキスト準備	Excelの便利な機能 等
	14	中間テスト	提出物確認	
	15	PowerPoint2016	テキスト準備	PowerPoint2016とは / 画面構成 等
	16	PowerPoint2016	テキスト準備	プレゼンテーションの作成 等
	17	PowerPoint2016	テキスト準備	文字の修飾と図形の活用 等
	18	PowerPoint2016	テキスト準備	アニメーション効果 等
	19	PowerPoint2016	テキスト準備	表の活用と画像の挿入 等
	20			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

## 授業計画(シラバス)

科目名	ITリテラシー	指導担当者名	村山 隆
実務経験	イメージスタジオ代表デザイナー実務経験25年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科 1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	60時間(前後期合わせて)	週時間数	2時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコンの基礎となるWindows10の使い方を学ぶ</li> <li>・Word、Excel、PowerPointの基礎知識・技術を学ぶ</li> </ul>		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・中間試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する</li> </ul>		
使用教材	テキスト 実務出版株式会社 発行「30時間でマスターOffice2016」、パソコン		
授業外学習 の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと</li> <li>・授業内で行うパソコン操作の復習</li> </ul>		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画  後 期	1	PowerPoint2016	テキスト準備 ワードアートの挿入 / 背景画像の設定 等
	2	PowerPoint2016	テキスト準備 スライドショーと資料作成 等
	3	Word、Excel、PowerPointの応用	テキスト準備 表の編集 / 画像や図形を活用した文書の作成 等
	4	Word、Excel、PowerPointの応用	テキスト準備 表計算ソフトとは / 関数を使った計算式 等
	5	Word、Excel、PowerPointの応用	テキスト準備 グラフ / 条件判定と順位付け 等
	6	Word、Excel、PowerPointの応用	テキスト準備 Webページを活用した表の作成 等
	7	Word、Excel、PowerPointの応用	テキスト準備 プレゼンテーションの基礎知識 等
	8	プレゼン制作	テキスト準備 自主制作
	9	プレゼン制作	テキスト準備 自主制作
	10	プレゼン制作	テキスト準備 自主制作
	11	プレゼンテーション・発表	資料提出
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

## 授業計画(シラバス)

科目名	ファッションマーケティング I		指導担当者名	佐藤 雅之	
実務経験	アパレルメーカー勤務実務経験10年			実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科 1年		
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)		週時間数	3時間	
学習到達目標	・ビジネスに関わる人、すべてに必要な知識、ビジネスのベースとなるマーケティングを学ぶ				
評価方法 評価基準	・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・中間試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	参照テキスト 株式会社 幻冬舎 発行 「知識ゼロからのマーケティング入門」をプリントして配布				
授業外学習 の方法	授業時配布プリントの見直し				
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>		
授業 計画  前期	1	第1章 マーケティングの基礎	プリント配布	マーケティングとは何か / マーケティングコンセプト 等	
	2	第1章 マーケティングの基礎	プリント配布	マーケティングの3C / マーケティング・ミックス 等	
	3	第2章 市場と消費者	プリント配布	セグメンテーション / ターゲティング 等	
	4	第2章 市場と消費者	プリント配布	ポジショニング / 顧客満足(CS) 等	
	5	第2章 市場と消費者	プリント配布	人の欲求の変化 / 消費者の購買までのプロセス 等	
	6	第2章 市場と消費者	プリント配布	ネット時代の購買行動 / 消費者間の相互作用 等	
	7	第2章 市場と消費者	プリント配布	ライフスタイル / 情報の収集と分析 等	
	8	第3章 自社と競合	プリント配布	自社の位置づけ / PPM 等	
	9	第3章 自社と競合	プリント配布	SWOT分析 / 市場と製品から企業の成長を考える 等	
	10	第1章～第3章までの復習	プリント配布	練習問題	
	11	中間テスト		テスト問題準備	
	12	中間テストフィードバック / 第4章 製品戦略	プリント配布	製品をどうとらえるか 等	
	13	第4章 製品戦略	プリント配布	製品の分類 / 製品ラインと製品ミックス 等	
	14	第4章 製品戦略	プリント配布	製品のライフサイクル / 計画的陳腐化 等	
	15	第4章 製品戦略	プリント配布	ブランド戦略 / ナショナル・ブランドとプライベート 等	
	16	第4章 製品戦略	プリント配布	パッケージング / 新製品誕生までのプロセス 等	
	17	第5章 価格戦略	プリント配布	価格はどのように決めるのか / 上澄み吸収価格戦略 等	
	18	第5章 価格戦略	プリント配布	市場浸透価格戦略 / 製品ミックスによる価格戦略 等	
	19	第6章 価格戦略	プリント配布	消費者心理を考慮した価格戦略 / 割引による価格対応	
	20				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

## 授業計画(シラバス)

科目名	ファッションマーケティング I	指導担当者名	佐藤 雅之
実務経験	アパレルメーカー勤務実務経験10年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科 1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)	週時間数	3時間
学習到達目標	・ビジネスに関わる人、すべてに必要な知識、ビジネスのベースとなるマーケティングを学ぶ		
評価方法 評価基準	・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・中間試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	参照テキスト 株式会社 幻冬舎 発行 「知識ゼロからのマーケティング入門」をプリントして配布		
授業外学習 の方法	授業時配布プリントの見直し		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画  後 期	1	第6章 流通チャンネル戦略	プリント配布 流通チャンネル戦略とは / 流通チャンネル政策 等
	2	第6章 流通チャンネル戦略	プリント配布 垂直的マーケティング・システム(VMS) / 卸売業者の機能 等
	3	第6章 流通チャンネル戦略	プリント配布 小売業の業種・業態とチェーン / 建値制とリベート 等
	4	第6章 流通チャンネル戦略	プリント配布 流通チャンネル管理の変化 / ロジスティクス 等
	5	第7章 プロモーション戦略	プリント配布 プロモーションとは / プッシュ戦略とプル戦略 等
	6	第7章 プロモーション戦略	プリント配布 さまざまな広告 / インターネット広告の急成長 等
	7	第7章 プロモーション戦略	プリント配布 販売促進(セールスプロモーション) / POP 等
	8	第7章 プロモーション戦略	プリント配布 パブリシティ / 人的販売・・・販売活動 等
	9	第4章～第7章までの復習	プリント配布 練習問題
	10	第1章～第7章までの復習	プリント配布 練習問題
	11	まとめ	プリント配布 ファッションマーケティングのまとめ
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

## 授業計画(シラバス)

科目名	ファッションデザイン画		指導担当者名	大島 成也	
実務経験	ファッションデザイナー 実務経験 31年			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	ファッション学科 1年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)		週時間数	3時間	
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファッションデザイン画の基礎を習得する</li> <li>・画材の使用方法を習得する</li> <li>・コンテスト入賞を目指す</li> </ul>				
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席</li> <li>・授業態度</li> <li>・提出課題</li> </ul> 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	テキスト 学校法人 文化学園 文化出版局 発行「ファッションデザイン画」、水彩絵の具一式、コピック各種				
授業外学習 の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと</li> <li>・デザイン画をより多く書くことでバランス、構成を理解する</li> </ul>				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画  前期	1	ファッション画の技法・デザイン画について	テキスト準備 オリテ・ヒアリング・動機づけ		
	2	画材の説明、トレーニング	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法を習得する		
	3	絵の具	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法を習得する		
	4	パステル	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法を習得する		
	5	人体について	テキスト、コピック各種準備 人体構成の知識習得する		
	6	デッサン、クロッキー	テキスト、コピック各種準備 人体構成の知識習得する		
	7	プロポーション	テキスト、コピック各種準備 バランス構成の知識習得する		
	8	ポーズ	テキスト、コピック各種準備 バランス構成の知識習得する		
	9	デッサン、クロッキー	テキスト、コピック各種準備 バランス構成の知識習得する		
	10	前期末試験	デザイン画作成、提出		
	11	部分練習、着装画	テキスト、コピック各種準備 画材の使用方法を習得する		
	12	写真模写	テキスト、コピック各種準備 バランス構成の知識習得する		
	13	デッサン、クロッキー	テキスト、コピック各種準備 バランス構成の知識習得する		
	14	彩色デザイン画	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法を習得する		
	15	基本着装	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 コーディネート含む		
	16	基本着装	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 デティール含む		
	17	デッサン、クロッキー	テキスト、コピック各種準備 着相モデル		
	18	造形トレーニング	テキスト、コピック各種準備 着相モデル		
	19	テーマ別創作デザイン	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 イメージソースの膨らませ方		
	20	コンペ対策	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 イメージソースの膨らませ方		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

## 授業計画(シラバス)

科目名	ファッションデザイン画	指導担当者名	大島 成也
実務経験	ファッションデザイナー 実務経験 31年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科 1年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)	週時間数	3時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファッションデザイン画の基礎を習得する</li> <li>・画材の使用方法を習得する</li> <li>・コンテスト入賞を目指す</li> </ul>		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席</li> <li>・授業態度</li> <li>・提出課題</li> </ul> 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	テキスト 学校法人 文化学園 文化出版局 発行「ファッションデザイン画」、水彩絵の具一式、コピック各種		
授業外学習 の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと</li> <li>・デザイン画をより多く書くことでバランス、構成を理解する</li> </ul>		
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>
授業 計画  後 期	1	コンペ対策	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 イメージソースの膨らませ方
	2	材質表現	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 画材の使用方法を習得する
	3	写真の模写	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 画材の使用方法を習得する
	4	自然をヒントに	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 画材の使用方法を習得する
	5	自然をヒントに	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 画材の使用方法を習得する
	6	抽象画の構成	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 画材の使用方法を習得する
	7	抽象画の構成	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 画材の使用方法を習得する
	8	省略画	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 抽象画レッスン
	9	ディフォルメ化	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 抽象画レッスン
	10	コンペ制作	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 テーマ別発想トレーニング
	11	コンペ制作	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 テーマ別発想トレーニング
	12	コンペ制作	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 テーマ別発想トレーニング
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

## 授業計画(シラバス)

科目名	英会話	指導担当者名	ピート・マッカーン
実務経験	ビジネス英会話講師 実務経験 10年		実務経験:
開講時期	後期	対象学科学年	ファッション学科 1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	30時間	週時間数	2時間
学習到達目標	・国際社会に対応できる英会話の基礎を身に付ける		
評価方法 評価基準	・出席 ・授業態度 ・中間試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	配布資料 Freem英会話教室 発行 テキスト / ワークブック 参照		
授業外学習 の方法	配布資料の復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授 業 計 画  後 期	1	Welcome to the class	教科書P4～
	2	Welcome to the class	ワークブックP3～
	3	Meeting people	教科書P10～
	4	Meeting people	ワークブックP5～
	5	People and possessions	教科書P14～
	6	People and possessions	ワークブック10～
	7	Daily life	教科書P22～
	8	Daily life	ワークブックP15～
	9	Time off	教科書P30～
	10	Time off	ワークブックP20～
	11	Homes and shops	教科書P38～
	12	Homes and shops	ワークブックP25～
	13	Good times, bad times	教科書P46～ 課題ワークブックP30～
	14	Good times, bad times	ワークブックP30～
	15	中間試験	
	16	中間試験フィードバック	中間試験の復習
	17	まとめ	課題ワークブックP30～
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			



## 授業計画(シラバス)

科目名	修了制作	指導担当者名	佐藤 雅之
実務経験	アパレルメーカー 実務経験 10年		実務経験:
開講時期	後期	対象学科学年	ファッション学科 1年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数(通年)	50時間	週時間数	10時間
学習到達目標	・1年間で学習した各科目の知識・技術を活かし、自主制作を行う		
評価方法 評価基準	・出席 ・授業態度 ・提出物 ・プレゼンテーション 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	1年間で使用したテキスト / 道具一式 等		
授業外学習 の方法	ファッション業界全体の情報収集 等		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授 業 計 画  後 期	1	修了制作の概要 / 企画	情報収集 / プランニング / 企画考案 / デザイン出し / パターン制作 等
	2	企画 / 制作準備	企画書作成 / デザイン出し / パターン制作 / 生地購入 等
	3	中間チェック / 制作	パターン制作 / 生地購入 / 衣装制作 等
	4	製作 / プレゼンテーション準備	衣装制作 / プレゼンテーション資料作成(企画書をパワーポイントにて作成) 等
	5	プレゼンテーション	作品、作成資料 準備 資料提出
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

## 授業計画(シラバス)

科目名	実践行動学Ⅱ(就職実務)		指導担当者名	佐藤 雅之
実務経験	アパレルメーカー勤務実務経験10年			実務経験:
開講時期	前期(通年)	対象学科学年	ファッション学科 2年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
時間数(通年)	30時間(前後期合わせて)	週時間数	1時間	
学習到達目標	就職活動に必要な目的意識、社会常識、活動スキルを学び内定する			
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・活動状況等			
使用教材	SUCCESS			
授業外学習 の方法	学科授業を受けて、また、この授業を受けて将来自分のなりたい姿を常に考える事			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画  前期	1	オリエンテーション	就職活動について	
	2	就職活動の心構え身だしなみ	昨年の資料に基づくレクチャー	
	3	就職活動での身だしなみ	5-1~5-1(実践編) 身だしなみ	
	4	就職活動の流れ	学校でのルールと大学生、高校生、専門学校生の違い	
	5	職業を知る	業界の常識をレクチャー	
	6	情報収集、企業研究、資料請求1	2-2(実践編) 業界マップの理解	
	7	情報収集、企業研究、資料請求2	2-3 業界ごとに必要な仕事内容を理解する	
	8	情報収集、企業研究、資料請求3	業界ごとに必要な仕事内容を理解する	
	9	自分次死因を知る 自分史作成 1	自己PRのネタを探す	
	10	自分次死因を知る 自分史作成 2	自己PRのネタを探す(経験)	
	11	自分次死因を知る 自分史作成 3	自己PRのネタを探す(特性)	
	12	自分次死因を知る 自分史作成 4	自己PRの骨格を作る	
	13	自分次死因を知る 自分史作成 5	自己PRの骨格を作る(実践編)	
	14	志望動機の作り方 1	業界、会社にあった動機作り	
	15	志望動機の作り方 2	業界、会社にあった動機作り	
	16	自己PRの作り方1	業界、会社に合った自己PR 作り	
	17	自己PRの作り方2	業界、会社に合った自己PR 作り	
	18	自己PRの作り方3	業界、会社に合った自己PR 作り	
	19	中間テスト		
	20	履歴書作成	まとめ	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

## 授業計画(シラバス)

科目名	実践行動学Ⅱ(就職実務)		指導担当者名	佐藤 雅之
実務経験	アパレルメーカー勤務実務経験10年			実務経験:
開講時期	前期(通年)	対象学科学年	ファッション学科 2年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
時間数(通年)	30時間(前後期合わせて)	週時間数	1時間	
学習到達目標	就職活動に必要な目的意識、社会常識、活動スキルを学び内定する			
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・活動状況等			
使用教材	SUCCESS			
授業外学習の方法	学科授業を受けて、また、この授業を受けて将来自分のなりたい姿を常に考える事			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 後期	1	志望動機の作り方 1	実践)業界、会社にあった動機作り	
	2	志望動機の作り方 2	実践)業界、会社にあった動機作り	
	3	作成書類 1	実践)加えて履歴書、エントリーシート、添え状など 各種書類を書けるように、また、封筒の書き方、その他の書類(事務局の書類の手続き)、ポートフォリオなどの話しもしてください。*履歴書の完成	
	4	作成書類 2		
	5	作成書類 3		
	6	企業訪問	準備、当日、事後の指導をしてください	
	7	就職試験のマナー 1	入退室	
	8	職試験のマナー 2	面接試験対策1	
	9	職試験のマナー 3	面接試験対策2	
	10	筆記試験対策 1	筆記試験について、種類や方法を知る	
	11	筆記試験対策 2	特に小論文の書き方(内容は自己PRや志望動機をまとめる内容がよい)	
	12	筆記試験対策 3	特に小論文の書き方(内容は自己PRや志望動機をまとめる内容がよい)	
	13	企業研究1	求人票の見方・自分の希望する企業を調査(実践)	
	14	企業研究2	求人票の見方・自分の希望する企業を調査(実践)	
	15	企業研究3	求人票の見方・自分の希望する企業を調査(実践)	
	16	履歴書・面接試験	履歴書、入退室の確認は必須	
	17	履歴書・面接試験	履歴書、入退室の確認は必須	
	18	ポートフォリオについて	作品について	
	19	まとめ	就職活動のまとめ	
	20	レポート	レポート提出	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

## 授業計画(シラバス)

科目名	ファッションビジネス論Ⅱ		指導担当者名	佐藤 雅之	
実務経験	アパレルメーカー勤務実務経験10年			実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科 2年		
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数(通年)	60時間(前後期合わせて)		週時間数	2時間	
学習到達目標	・ファッションビジネスを展開するために必要な、抽象性と物理性の両方の知識と技術を学ぶ				
評価方法 評価基準	・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・中間試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	テキスト 一般財団法人 日本ファッション教育振興協会 発行「ファッションビジネス[Ⅱ]」、配布資料 プリント準備				
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと ・授業内で行った内容の復習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画  前期	1	ファッションビジネス知識 1 ファッションビジネスの特性	テキスト準備	ファッションビジネスの事業特性 等	
	2	1 ファッションビジネスの特性	テキスト準備	ファッションビジネスの変遷 等	
	3	1 ファッションビジネスの特性	テキスト準備	ファッションビジネスをめぐる環境変化 等	
	4	1 ファッションビジネスの特性	テキスト準備	近年のファッションビジネス動向 等	
	5	2 ファッション生活・ファッション消費	テキスト準備	ファッション消費行動を形成する要素 等	
	6	2 ファッション生活・ファッション消費	テキスト準備	ファッション消費の変遷と現在 等	
	7	3 ファッション産業構造	テキスト準備	グローバルな視点でとらえたアパレル産業 等	
	8	3 ファッション産業構造	テキスト準備	繊維産業の知識 等	
	9	3 ファッション産業構造	テキスト準備	グローバルな視点でとらえた小売業とSC 等	
	10	3 ファッション産業構造	テキスト準備	服飾雑貨産業、ファッション関連産業・機関 等	
	11	中間テスト	テスト問題準備		
	12	中間テストフィードバック / 6 アパレル生産と物流	テキスト準備	アパレル生産管理、品質管理 等	
	13	6 アパレル生産と物流	テキスト準備	アパレル物流 等	
	14	6 アパレル生産と物流	テキスト準備	QRの基礎知識 等	
	15	7 ファッション流通	テキスト準備	アパレル流通戦略 等	
	16	7 ファッション流通	テキスト準備	アパレル、小売、SCの取引特性 等	
	17	7 ファッション流通	テキスト準備	アパレル営業とチャネル管理 等	
	18	8 販売管理とプロモーション	テキスト準備	単独店舗運営、販売スタッフ管理 等	
	19	8 販売管理とプロモーション	テキスト準備	販売計画、販売管理 等	
	20	8 販売管理とプロモーション	テキスト準備	ファッション企業・ショップのプロモーション 等	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

## 授業計画(シラバス)

科目名	ファッションビジネス論Ⅱ		指導担当者名	佐藤 雅之	
実務経験	アパレルメーカー勤務実務経験10年			実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科 2年		
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数(通年)	60時間(前後期合わせて)		週時間数	2時間	
学習到達目標	・ファッションビジネスを展開するために必要な、抽象性と物理性の両方の知識と技術を学ぶ				
評価方法 評価基準	・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・中間試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	テキスト 一般財団法人 日本ファッション教育振興協会 発行「ファッションビジネス[Ⅱ]」、授業時間内の資料配布				
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと ・授業内で行った内容の復習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画  後 期	1	9 キャリアプラン	テキスト準備	ファッション業界の職業別業務内容 等	
	2	9 キャリアプラン	テキスト準備	職業人の活動と自己啓発・自己管理 等	
	3	10 ビジネス基礎知識	テキスト準備	マネジメント基礎知識、IT基礎知識 等	
	4	10 ビジネス基礎知識	テキスト準備	計数管理 等	
	5	ファッション造形知識 1 ファッション文化・デザイン文化	テキスト準備	ファッション文化とデザイン文化 等	
	6	1 ファッション文化・デザイン文化	テキスト準備	服装史の基礎知識 等	
	7	1 ファッション文化・デザイン文化	テキスト準備	デザイン文化の歴史 等	
	8	1 ファッション文化・デザイン文化	テキスト準備	コンテンポラリーデザインの世界 等	
	9	2 ファッション・コーディネーション	テキスト準備	アパレル企業のスタイリング計画 等	
	10	2 ファッション・コーディネーション	テキスト準備	小売店舗のスタイリング 等	
	11	2 ファッション・コーディネーション	テキスト準備	VP、PP、IPの計画 等	
	12	中間テスト	テスト問題準備		
	13	中間テストフィードバック / 3 ファッション商品知識	テキスト準備	アパレルの商品部門・服種・アイテムの知識 等	
	14	3 ファッション商品知識	テキスト準備	シルエット、ディテールの知識 等	
	15	6 ファッション・エンジニアリング	テキスト準備	アパレル生産工程の知識 等	
	16	6 ファッション・エンジニアリング	テキスト準備	CAD、CAMの知識 等	
	17	ファッションビジネス知識 / ファッション造形知識のまとめ	テキスト、プリント準備		
	18	まとめ	テキスト、プリント準備		
	19				
	20				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

## 授業計画(シラバス)

科目名	アパレルメイキングⅡ	指導担当者名	笹原 和加子
実務経験	パターンナー 実務経験 5年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科 2年
授業方法	講義:	演習:◎	実習:○ 実技:
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)	週時間数	3時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被服に関する総合的な知識と製作技術を習得する</li> <li>・創造力と美的感性の開発を目指す</li> <li>・服飾造形の基礎知識から、それぞれの基本的な服種(アイテム)の「服作り」を通して、服飾全般の知識と応用を学ぶ</li> </ul>		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・中間試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する</li> </ul>		
使用教材	テキスト 学校法人文化学園 文化出版局 発行 『 服飾造形の基礎 「スカート・パンツ」「ブラウス・ワンピース」 』		
授業外学習 の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと ・授業内で行うパターンの作図や製作方法の復習</li> </ul>		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	ドレーピング基礎知識・技術の習得	身頃原形準備
	2	ドレーピング基礎知識・技術の習得	ボテライン入れ(BL.WL.HL.CF.CB.肩線)
	3	ドレーピング基礎知識・技術の習得	ボテライン入れ(プリンセスL.脇線.襟割り他)、ドレーピング地直し
	4	タイトスカート知識・技術の習得	SK原形用シーティング準備(赤毛入・地直し)
	5	袖付け縫製	OPTルソー:袖・身頃・SK縫合せレクチャー 実習
	6	タイトスカートドレーピング基礎知識・技術の習得	SK原形:ドレーピングレクチャー・実習
	7	タイトスカートドレーピング基礎知識・技術の習得	SK原形:ドレーピングレクチャー・実習
	8	タイトスカートドレーピング基礎知識・技術の習得	SK原形:トレースレクチャー・実習
	9	タイトスカートドレーピング基礎知識・技術の習得	SK原形:Pチェック,ピン打ちレクチャー・実習
	10	ドレーピング基礎知識・技術の習得	身頃原形:ドレーピングレクチャー・実習
	11	ドレーピング基礎知識・技術の習得	身頃原形:トレースレクチャー・実習
	12	ドレーピング基礎知識・技術の習得	身頃原形:トレースレクチャー・実習
	13	ドレーピング基礎知識・技術の習得	身頃原形:Pチェック,ピン打ちレクチャー・実習
	14	ドレーピング基礎知識・技術の習得	ダーツ展開:ドラフティング板書(6種)・実習
	15	ドレーピング基礎知識・技術の習得	ダーツ展開:ドラフティング板書(6種)・実習
	16	スカート応用の知識・技術の習得	フレア-SK展開:ドラフティング板書・実習
	17	スカート応用の知識・技術の習得	フレア-SK展開:ドラフティング(実物)レクチャー・実習、課題:地直し(フレア-SK用)
	18	スカート応用の知識・技術の習得	フレア-SK展開:Pチェック,ピン打ちレクチャー 実習
	19	プリンセスライン	プリンセス原形:ドラフティング板書・実習
	20	プリンセスライン	プリンセス原形:ドラフティング(実物)レクチャー・実習、課題:地直し(プリンセス原形用)
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

## 授業計画(シラバス)

科目名	アパレルメイキングⅡ		指導担当者名	笹原 和加子	
実務経験	パタンナー 実務経験 5年			実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科 2年		
授業方法	講義:	演習:◎	実習:○	実技:	
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)		週時間数	3時間	
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被服に関する総合的な知識と製作技術を習得する</li> <li>・創造力と美的感性の開発を目指す</li> <li>・服飾造形の基礎知識から、それぞれの基本的な服種(アイテム)の「服作り」を通して、服飾全般の知識と応用を学ぶ</li> </ul>				
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・中間試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する</li> </ul>				
使用教材	テキスト 学校法人 文化学園 文化出版局 発行 『服飾造形の基礎「スカート・パンツ」「ブラウス・ワンピース」』				
授業外学習 の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと ・授業内で行うパターンの作図や製作方法の復習</li> </ul>				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画  後 期	1	課題チェック	PM検定対策検定 実技確認		
	2	課題チェック・レクチャー	袖原形:ドラフティング'板書'・実習	課題: 赤毛入・地直し(袖用)	
	3	課題チェック・レクチャー	袖原形:ドラフティング'板書'・実習	課題: 赤毛入・地直し(袖用)	
	4	課題チェック・レクチャー	袖原形:ドラフティング'板書'・実習	課題: 赤毛入・地直し(袖用)	
	5	パターン展開	袖応用:展開レクチャー(袖山・袖口側)	実習	
	6	パターン展開	袖応用:展開実習(ドラフティング・ドレーピング)		
	7	パターン展開	2枚袖:ドラフティング(実物)レクチャー・実習	課題: 地直し(2枚袖用)	
	8	パターン展開	2枚袖:ドラフティング(実物)レクチャー・実習	課題: 地直し(2枚袖用)	
	9	オリジナル制作	縫製確認		
	10	オリジナル制作	縫製確認		
	11	オリジナル制作	縫製確認		
	12	提出	提出確認		
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

## 授業計画(シラバス)

科目名	ファッションコーディネートⅡ		指導担当者名	佐藤 雅之	
実務経験	アパレルメーカー 実務経験 10年			実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科 2年		
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)		週時間数	3時間	
学習到達目標	・戦後から今日まで様々に変化したファッションの歴史、ファッション・コーディネートの種類、ファッション・ビジネス、商品知識や企画の立て方など、スタイリストとしての基本的な知識、専門技術を理解させる				
評価方法 評価基準	・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・中間試験課題提出 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	テキスト 学校法人 文化学園 文化出版局 発行「スタイリスト&コーディネーターの条件」				
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画  前期	1	第1章 これから必要とされるスタイリスト、コーディネーター	テキスト準備	ファッション概論 / ファッションとは 等	
	2	第1章 これから必要とされるスタイリスト、コーディネーター	テキスト準備	スタイリストとは / スタイリストの仕事の種類と分類 等	
	3	第1章 これから必要とされるスタイリスト、コーディネーター	テキスト準備	スタイリストの仕事 等	
	4	第1章 これから必要とされるスタイリスト、コーディネーター	テキスト準備	ウェディングプランナーとスタイリスト 等	
	5	第1章 これから必要とされるスタイリスト、コーディネーター	テキスト準備	ヘアメイクアップアーティスト 等	
	6	第1章 これから必要とされるスタイリスト、コーディネーター	テキスト準備	インテリアコーディネーター / カラーリスト 等	
	7	第2章 色の知識と基本的な技術	テキスト準備	色の体系 / 色彩 / 色の効果 / 流行色とファッション情報 等	
	8	第3章 戦後ファッション概観	テキスト準備	着物文化から洋服文化へ 等	
	9	第3章 戦後ファッション概観	テキスト準備	経済高度成長期 マスプロ、マスセル 等	
	10	第3章 戦後ファッション概観	テキスト準備	経済低成長期 スタイリストの誕生(量から質へ)	
	11	第3章 戦後ファッション概観	テキスト準備	バブル経済 DCブランド～インポートブランド	
	12	第3章 戦後ファッション概観	テキスト準備	ラグジュアリーブランドの発展	
	13	第3章 戦後ファッション概観	テキスト準備	国際的な不況の時代 ファストファッション アジアの時代	
	14	中間テスト	テスト問題準備		
	15	中間テストフィードバック	テスト問題準備		
	16	第4章 ファッションコーディネート技術の必要性	テキスト準備	ファッションコーディネートの基本原理 等	
	17	第4章 ファッションコーディネート技術の必要性	テキスト準備	素材の組み合わせによるコーディネート 等	
	18	第4章 ファッションコーディネート技術の必要性	テキスト準備	イメージの組合せによるコーディネート	
	19	第4章 ファッションコーディネート技術の必要性	テキスト準備	ライフスタイルによるコーディネート	
	20				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					



## 授業計画(シラバス)

科目名	ファッションコーディネートⅠ		指導担当者名	佐藤 雅之	
実務経験	アパレルメーカー 実務経験 10年			実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科 1年		
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)		週時間数	3時間	
学習到達目標	・戦後から今日まで様々な変化したファッションの歴史、ファッション・コーディネートの種類、ファッション・ビジネス、商品知識や企画の立て方など、スタイリストとしての基本的な知識、専門技術を理解させる				
評価方法 評価基準	・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・中間試験課題提出 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	テキスト 学校法人 文化学園 文化出版局 発行「スタイリスト&コーディネーターの条件」				
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画  後 期	1	第5章 ファッション商品知識	テキスト準備	シャツ / ブラウス / ワンピース 等	
	2	第5章 ファッション商品知識	テキスト準備	ジャケット / コート / 帽子 等	
	3	第6章 ファッションビジネス	テキスト準備	マーチャンダイジングの定義 等	
	4	第6章 ファッションビジネス	テキスト準備	市場調査 / ショップリサーチの実例 等	
	5	第6章 ファッションビジネス	テキスト準備	マーケットセグメンテーション 等	
	6	第7章 ファッションショー	テキスト準備	ショーの目的 / ショーの会場と形態 / 舞台案 / 企画のポイント 等	
	7	第7章 ファッションショー	テキスト準備	コンセプト分析 / イメージ分析 / デザインの具体化 等	
	8	第7章 ファッションショー	テキスト準備	イメージとデザイン画 / モデル / プレス担当 等	
	9	第8章 ファッション心理学	テキスト準備	ファッション心理学とは 等	
	10	第9章 ファッションの専門用語	テキスト準備	アースカラー / アールデコ / アイコンショップ 等	
	11	第10章 ビジスマナーの基本知識	テキスト準備	身だしなみ / ヘアスタイルとメイクアップ 等	
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

## 授業計画(シラバス)

科目名	アパレルデザインⅡ	指導担当者名	村山 隆
実務経験	イメージスタジオ代表デザイナー実務経験25年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科 2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	60時間(前後期合わせて)	週時間数	2時間
学習到達目標	・アパレル企画に必要なillustrator photoshop の習得、応用 (制作課題を通しアパレルメーカーの実践的な作業に取組み、必要な内容、技術を身につけさせる。)		
評価方法 評価基準	・出席 ・授業態度 ・提出課題 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	テキスト 株式会社 技術評論社 発行 「Illustrator 操作とデザインの教科書」/「Photoshop 操作とデザインの教科書」		
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと ・授業内で行った操作の復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画  前期	1	プレゼンテーション	テキスト準備 年間の授業の内容、進め方等、他
	2	ブランド立ち上げ / オリジナルブランドの企画書制作	テキスト準備 企画書のフォーム作成 コンセプト等
	3	(課題1 ブランド名・ブランドロゴマーク 制作)	テキスト準備 ターゲット、市場背景、ニーズ等を考えオリジナルネーム。ロゴ、マークのデザインを作成
	4	(課題2 ブランド名・ブランドロゴマーク 制作)	テキスト準備 文字アウトラインを使い、オリジナルデザインの表現 / アンカーポイント追加、削除使い方習得
	5	(課題2 下げ札(大小)・衿ネーム(布帛/ニット)・ビスネーム制作)	テキスト準備 下げ札-表/裏-プライスカード作成 / 衿ネーム-平絵に縫い付けた状態で仕様
	6	企画書制作	テキスト準備 企画書(ターゲット、市場背景、マーケット、ニーズ分析)等作成
	7	(課題3 ショッピングバッグ(紙/ナイロン)の制作)	テキスト準備 ブランドイメージの統一
	8	企画書制作	テキスト準備 企画書(ポジション)等作成
	9	(課題4 ブランドイメージマップ制作・画像合成) 2ページ photoshop	テキスト準備 イメージ画像の収集、編集、解像度理解、投げ縄、マグネットツールの技術習得
	10	画像編集・情報収集・取り込み	テキスト準備 合成技術の習得
	11	企画書制作	テキスト準備 ターゲットイメージ等
	12	企画書制作	テキスト準備 ターゲットイメージ等
	13	(課題5 ブランドスタイリングマップ制作 5スタイル/背景イメージ画像)	テキスト準備 デザイン画書き方を学ぶ
	14	スタイル画の雛形制作	テキスト準備 ペンツールのスピードアップと色付け技術習得
	15	ブランドスタイリングマップ制作	テキスト準備 モデル(人物)の描き方(目、鼻、口、手等) / デザイン画の表現方法の習得
	16	ブランドスタイリングマップ制作	テキスト準備 小物、靴、バッグ等、描き方の習得、オリジナルの表現
	17	ブランドスタイリングマップ制作	テキスト準備 しわ、ドレープ、影等、描き方習得
	18	ブランドスタイリングマップ制作	仕上げ
	19	プレゼンテーション	
	20		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

## 授業計画(シラバス)

科目名	アパレルデザインⅡ	指導担当者名	村山 隆
実務経験	イメージスタジオ代表デザイナー実務経験25年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科 2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	60時間(前後期合わせて)	週時間数	2時間
学習到達目標	・アパレル企画に必要なillustrator photoshop の習得、応用 (制作課題を通しアパレルメーカーの実践的な作業に取り組み、必要な内容、技術を身につけさせる。)		
評価方法 評価基準	・出席 ・授業態度 ・提出課題 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	テキスト 株式会社 技術評論社 発行 「Illustrator 操作とデザインの教科書」/「Photoshop 操作とデザインの教科書」		
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと ・授業内で行った操作の復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画  後 期	1	(課題6 デザイン画(5体)各アイテムの平絵の落とし込み、小物、靴等も含む)	テキスト準備 小物、靴、バッグ等、描き方の習得、オリジナルの表現
	2	(課題6 デザイン画(6体)各アイテムの平絵の落とし込み、小物、靴等も含む)	テキスト準備 モデル(人物)の描き方(目、鼻、口、手等) / デザイン画の表現方法の習得
	3	平絵に落とし込み、BS(バックスタイル)デザイン画制作	テキスト準備 しわ、ドレープ、影等、描き方習得
	4	企画書制作	テキスト準備 デザイン力を身につける
	5	企画書制作	テキスト準備 デザイン力を身につける
	6	(課題7 着回し案制作)	テキスト準備 メッシュツール使用レクチャー
	7	(課題8 商品カタログ制作(基本フォーム作り))	テキスト準備 ペンツール使用・ディティール・シルエット
	8	(課題9 全アイテムのカタログ制作)	テキスト準備 ディティール(ステッチ・ドット・スリット)
	9	平絵の応用	テキスト準備 イメージアップの編集能力を習得する
	10	平絵の応用	テキスト準備 ぼかし・透明効果
	11	(課題10 展示会発注書制作)	テキスト準備 長方形ツール～マスク
	12	(課題11 店舗用在庫管理表制作)	テキスト準備 ディティール縫製仕様書
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

## 授業計画(シラバス)

科目名	エディトリアル		指導担当者名	根本 裕太	
実務経験	映像会社実務経験5年			実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科 2年		
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数(通年)	60時間(前後期合わせて)		週時間数	2時間	
学習到達目標	撮影や映像編集の技術を学び、業界での仕事に役立てる。				
評価方法 評価基準	授業態度、作業効率、作品				
使用教材	iPad				
授業外学習 の方法	動画を観る				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画  前期	1	オリエンテーション	講師紹介		
	2	結婚式の映像	鑑賞		
	3	iPadでの撮影・編集	撮影		
	4	iPadでの撮影・編集	iムービーを使い編集		
	5	iPadでの撮影・編集	携帯電話やiPadを使って撮影		
	6	iPadでの撮影・編集	編集		
	7	iPadでの撮影・編集	編集		
	8	カメラでの撮影・編集	一眼レフを使い撮影		
	9	カメラでの撮影・編集	iムービーを使い編集		
	10	カメラでの撮影・編集	一眼レフを使い撮影		
	11	カメラでの撮影・編集	iムービーを使い編集		
	12	カメラでの撮影・編集	一眼レフを使い撮影		
	13	カメラでの撮影・編集	iムービーを使い編集		
	14	映像作品作成	各自教わった技術を使って撮影・編集		
	15	映像作品作成	各自教わった技術を使って撮影・編集		
	16	映像作品作成	各自教わった技術を使って撮影・編集		
	17	映像作品作成	各自教わった技術を使って撮影・編集		
	18	映像作品作成	各自教わった技術を使って撮影・編集		
	19	発表	プレゼン		
	20	まとめ	レポート		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

## 授業計画(シラバス)

科目名	エディトリアル		指導担当者名	根本 裕太	
実務経験	映像会社実務経験5年			実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科 2年		
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数(通年)	60時間(前後期合わせて)		週時間数	2時間	
学習到達目標	撮影や映像編集の技術を学び、業界での仕事に役立てる。				
評価方法 評価基準	授業態度、作業効率、作品				
使用教材	iPad				
授業外学習 の方法	動画を観る				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
Ⅰ 画	1	オリエンテーション	講師紹介		
	2	結婚式の映像	鑑賞		
	3	iPadでの撮影・編集	撮影		
	4	iPadでの撮影・編集	iムービーを使い編集		
	5	iPadでの撮影・編集	携帯電話やiPadを使って撮影		
	6	iPadでの撮影・編集	編集		
	7	iPadでの撮影・編集	編集		
	8	カメラでの撮影・編集	一眼レフを使い撮影		
	9	カメラでの撮影・編集	iムービーを使い編集		
	10	カメラでの撮影・編集	一眼レフを使い撮影		
	11	カメラでの撮影・編集	iムービーを使い編集		
	12	カメラでの撮影・編集	一眼レフを使い撮影		
	13	カメラでの撮影・編集	iムービーを使い編集		
	14	映像作品作成	各自教わった技術を使って撮影・編集		
	15	映像作品作成	各自教わった技術を使って撮影・編集		
	16	映像作品作成	各自教わった技術を使って撮影・編集		
	17	映像作品作成	各自教わった技術を使って撮影・編集		
	18	映像作品作成	各自教わった技術を使って撮影・編集		
	19	発表	プレゼン		
	20	まとめ	レポート		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

## 授業計画(シラバス)

科目名	ファッションマーケティングⅡ	指導担当者名	佐藤 雅之
実務経験	アパレルメーカー 実務経験 10年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科 2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	60時間(前後期合わせて)	週時間数	2時間
学習到達目標	・ビジネスに必要な知識、ビジネスのペースとなるマーケティングの基礎と実践力を学ぶ		
評価方法 評価基準	・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・中間試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	参照テキスト 株式会社 すばる舎 発行 「マーケティング」の基本&実践力がイチから身につく本 をプリントして配布		
授業外学習 の方法	授業時配布プリントの見直し		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	PART1 マーケティングの基本、これだけは押さえておこう	プリント配布 なぜマーケティングが必要なのか / そもそもマーケティングって何 等
	2	PART1 マーケティングの基本、これだけは押さえておこう	プリント配布 マーケティング活動の全体像は? / どのように、自社を分析する? 等
	3	PART1 マーケティングの基本、これだけは押さえておこう	プリント配布 どのように競争手を分析する? / セグメンテーションって何? 等
	4	PART1 マーケティングの基本、これだけは押さえておこう	プリント配布 ポジショニングって何? / マーケティングの4Pって何? 等
	5	PART2 市場について調査しよう	プリント配布 「市場」ってどこまでが市場? / マーケティング・リサーチって何? 等
	6	PART2 市場について調査しよう	プリント配布 定量調査って何を調べる調査なの? / アンケート調査を実施するには? 等
	7	PART2 市場について調査しよう	プリント配布 アンケート結果を集計・分析するコツは? / アンケートからヒントを発見するコツは? 等
	8	PART2 市場について調査しよう	プリント配布 定性調査って何を調べる調査なの? / インタビューを実施するときのコツは? 等
	9	PART3 「お客様」の立場になって考えよう	プリント配布 お客様が誰かを説明できる? / どうしたらお客様をより深く知れる? 等
	10	PART3 「お客様」の立場になって考えよう	プリント配布 新規のお客様を獲得するには? / 購買パターンはどのように変化する? 等
	11	PART3 「お客様」の立場になって考えよう	プリント配布 お客様の「知る」・「わかる」・「好きになる」という心理って? 等
	12	PART3 「お客様」の立場になって考えよう	プリント配布 お客様にはじめて買ってもらうには? / お客様に続けて買ってもらうには? 等
	13	中間テスト	試験問題準備
	14	中間テストフィードバック / PART4 「競争相手」について分析しよう	プリント配布 競争相手を考えるための5Fって何? / 市場シェアによる4つの分類って? 等
	15	PART4 「競争相手」について分析しよう	プリント配布 3つの基本的な競争戦略って何? / 「バリューイノベーション」って何? 等
	16	PART4 「競争相手」について分析しよう	プリント配布 市場の「参入障壁」って何? / 代替市場の競争相手って? 等
	17	PART5 「製品戦略」の基本をイチから学ぼう	プリント配布 製品と商品とブランドの違いって何? / ヒット商品が生まれる原理って? 等
	18	PART5 「製品戦略」の基本をイチから学ぼう	プリント配布 新製品の開発手順って? / 新製品のコンセプトって何? 等
	19	PART5 「製品戦略」の基本をイチから学ぼう	プリント配布 そもそも「ブランド」って何? / ネーミング開発のコツは? 等
	20	PART5 「製品戦略」の基本をイチから学ぼう	プリント配布 商標や意匠登録って何? / ブランドシンボルをつくるコツは? 等
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

## 授業計画(シラバス)

科目名	ファッションマーケティングⅡ		指導担当者名	佐藤 雅之	
実務経験	アパレルメーカー 実務経験 10年			実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科 2年		
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数(通年)	60時間(前後期合わせて)		週時間数	2時間	
学習到達目標	・ビジネスに必要な知識、ビジネスのペースとなるマーケティングの基礎と実践力を学ぶ				
評価方法 評価基準	・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・中間試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	参照テキスト 株式会社 すばる舎 発行 「マーケティング」の基本&実践力がイチから身につく本 をプリントして配布				
授業外学習 の方法	授業時配布プリントの見直し				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画  後 期	1	PART1～5の復習 / PART6 「価格戦略」の基本をイチから学ぼう	プリント配布	価格はどうやって決めるのか? / 「売りたい価格」を算出するためには? 等	
	2	PART6 「価格戦略」の基本をイチから学ぼう	プリント配布	「売らねばならない価格」を算出するには? / 「売れる価格」を算出するには? 等	
	3	PART6 「価格戦略」の基本をイチから学ぼう	プリント配布	新製品販売で有効な3つの価格戦略って? / 価格弾力性って何? 等	
	4	PART6 「価格戦略」の基本をイチから学ぼう	プリント配布	キメ細かい価格設定って? / 値崩れするのはなぜ? 等	
	5	PART7 「流通戦略」の基本をイチから学ぼう	プリント配布	チャネルって何? / どのようなチャネルが望ましい? 等	
	6	PART7 「流通戦略」の基本をイチから学ぼう	プリント配布	チャネルにはどんな種類がある? / SCMって何? 等	
	7	PART8 「プロモーション戦略」の基本をイチから学ぼう	プリント配布	プロモーションって何? / プロモーションに必要な2つの戦略って? 等	
	8	PART8 「プロモーション戦略」の基本をイチから学ぼう	プリント配布	Web時代のコミュニケーションの特徴は? / PR活用するコツは? 等	
	9	PART8 「プロモーション戦略」の基本をイチから学ぼう	プリント配布	テレビCMの特徴は? / 印刷媒体の特徴は? 等	
	10	PART8 「プロモーション戦略」の基本をイチから学ぼう	プリント配布	SPメディアの広告って? / セールス・人的プロモーションのコツは? 等	
	11	中間テスト		試験問題準備	
	12	中間テストフィードバック / PART9 すぐ役立つマーケティングの実務	プリント配布	マーケティング部門の成り立ちとは? / マーケティング部門の3大業務とは? 等	
	13	PART9 すぐ役立つマーケティングの実務	プリント配布	マーケティングのプランニングサイクルを知る / ブランドマネージャーの役割とは? 等	
	14	PART9 すぐ役立つマーケティングの実務	プリント配布	B2Bマーケティングの特徴とは? / B2BマーケティングでのQC&Dとは? 等	
	15	PART9 すぐ役立つマーケティングの実務	プリント配布	中小企業が目指すべきマーケティングとは? / アフターサービスがリピーターを育成? 等	
	16	PART9 すぐ役立つマーケティングの実務	プリント配布	マーケッターに必要な力とは? 等	
	17	PART6～9の復習		プリント配布	
	18	まとめ		プリント配布	
	19				
	20				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

## 授業計画(シラバス)

科目名	英会話	指導担当者名	ピート・マッカーン
実務経験	ビジネス英会話講師 実務経験 10年		実務経験:
開講時期	前期	対象学科学年	ファッション学科 2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	30時間	週時間数	2時間
学習到達目標	・国際社会に対応できる英会話の応用を身に付ける		
評価方法 評価基準	・出席 ・授業態度 ・中間試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	配布資料 Freecom英会話教室 発行 テキスト / ワークブック 参照		
授業外学習 の方法	配布資料の復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	Films,music,news①	教科書P54～
	2	Films,music,news②	教科書P58～
	3		ワークブックP35～
	4	Let's go away①	教科書P62～
	5	Let's go away②	教科書P66～
	6		ワークブックP40～
	7	All in a day's work①	教科書P70～
	8	All in a day's work②	教科書P74～
	9		ワークブックP45～
	10	Mind and body①	教科書P78～
	11	Mind and body②	教科書P82
	12		ワークブックP50～
	13	Future plans①	教科書P86～
	14	Future plans②	教科書90～
	15		ワークブックP55～
	16	Life experiences①	教科書P94～
	17	Life experiences②	教科書P98～
	18		ワークブックP60～
	19	期末テスト	
	20	期末テスト解説 / まとめ	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			



## 授業計画(シラバス)

科目名	デザイン画	指導担当者名	大島 成也
実務経験	ファッションデザイナー 実務経験 31年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科 2年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)	週時間数	3時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファッションデザイン画の基礎から応用を習得する</li> <li>・画材の使用方法的復習、応用を習得する</li> <li>・コンテスト入賞を目指す</li> </ul>		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席 ・授業態度 ・提出課題 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する</li> </ul>		
使用教材	テキスト 学校法人 文化学園 文化出版局 発行「ファッションデザイン画」、水彩絵の具一式、コピック各種、配布資料 プリント等		
授業外学習 の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと ・デザイン画をより多く書くことでバランス、構成を理解する</li> </ul>		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画  前期	1	ファッション画の技法・デザイン画について	テキスト準備 オリテ・ヒアリング・動機づけ
	2	画材の説明、トレーニング	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法を習得する
	3	絵の具	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法を習得する
	4	パステル	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法を習得する
	5	人体について	テキスト、コピック各種準備 人体構成の知識習得する
	6	デッサン、クロッキー	テキスト、コピック各種準備 人体構成の知識習得する
	7	プロポーション	テキスト、コピック各種準備 バランス構成の知識習得する
	8	ポーズ	テキスト、コピック各種準備 バランス構成の知識習得する
	9	デッサン、クロッキー	テキスト、コピック各種準備 バランス構成の知識習得する
	10	前期末試験	デザイン画作成、提出
	11	部分練習、着装画	テキスト、コピック各種準備 画材の使用方法を習得する
	12	写真模写	テキスト、コピック各種準備 バランス構成の知識習得する
	13	デッサン、クロッキー	テキスト、コピック各種準備 バランス構成の知識習得する
	14	彩色デザイン画	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法を習得する
	15	基本着装	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 コーディネート含む
	16	基本着装	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 デティール含む
	17	デッサン、クロッキー	テキスト、コピック各種準備 着装相モデル
	18	造形トレーニング	テキスト、コピック各種準備 着装相モデル
	19	テーマ別創作デザイン	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 イメージソースの膨らませ方
	20	コンペ対策	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 イメージソースの膨らませ方
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

## 授業計画(シラバス)

科目名	デザイン画	指導担当者名	大島 成也
実務経験	ファッションデザイナー 実務経験 31年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科 2年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)	週時間数	3時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファッションデザイン画の基礎から応用を習得する</li> <li>・画材の使用方法的復習、応用を習得する</li> <li>・コンテスト入賞を目指す</li> </ul>		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席 ・授業態度 ・提出課題 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する</li> </ul>		
使用教材	テキスト 学校法人 文化学園 文化出版局 発行「ファッションデザイン画」、水彩絵の具一式、コピック各種、配布資料 プリント等		
授業外学習 の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと ・デザイン画をより多く書くことでバランス、構成を理解する</li> </ul>		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画  後 期	1	コンペ対策	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 イメージソースの膨らませ方
	2	材質表現	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 画材の使用方法的習得する
	3	写真の模写	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 画材の使用方法的習得する
	4	自然をヒントに	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 画材の使用方法的習得する
	5	自然をヒントに	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 画材の使用方法的習得する
	6	抽象画の構成	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 画材の使用方法的習得する
	7	抽象画の構成	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 画材の使用方法的習得する
	8	省略画	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 抽象画レッスン
	9	ディフォルメ化	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 抽象画レッスン
	10	コンペ制作	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 テーマ別発想トレーニング
	11	コンペ制作	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 テーマ別発想トレーニング
	12	コンペ制作	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 テーマ別発想トレーニング
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

## 授業計画(シラバス)

科目名	卒業制作	指導担当者名	佐藤 雅之
実務経験	アパレルメーカー 実務経験 10年		実務経験:
開講時期	後期	対象学科学年	ファッション学科 2年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	30時間	週時間数	6時間
学習到達目標	・2年間で学習した各科目の知識・技術を活かし、自主制作を行う		
評価方法 評価基準	・出席 ・授業態度 ・提出物 ・プレゼンテーション 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	2年間で使用したテキスト / 道具一式 等		
授業外学習 の方法	ファッション業界全体の情報収集 等		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画  後 期	1	卒業制作の概要 / 企画	情報収集 / プランニング / 企画考案 / デザイン出し / パターン制作 等
	2	企画 / 制作準備	企画書作成 / デザイン出し / パターン制作 / 生地購入 等
	3	中間チェック / 制作	パターン制作 / 生地購入 / 衣装制作 等
	4	製作 / プレゼンテーション準備	衣装制作 / プレゼンテーション資料作成(企画書をパワーポイントにて作成) 等
	5	プレゼンテーション	作品、作成資料 準備 資料提出
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

## 授業計画(シラバス)

科目名	企業実習	指導担当者名	企業指導者
実務経験	実習企業指導者		実務経験:
開講時期	前期	対象学科学年	ファッション学科 2年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	30時間	週時間数	15時間
学習到達目標	実践授業の一環として、目指す業界の仕事に触れることでマナーや仕事内容を理解する。		
評価方法 評価基準	実習態度や実習対応力を中心に、基礎的知識等を判断していただき、評価表を提出する。		
使用教材	企業毎に違う		
授業外学習 の方法	自宅での予習・復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	企業実習	企業毎の接客マナーや電話対応、基礎的なルーティンワーク
	2	企業実習	企業毎の接客マナーや電話対応、基礎的なルーティンワーク
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

## 授業計画(シラバス)

科目名	デザインコース(商品企画)	指導担当者名	大島 成也
実務経験	ファッションデザイナー 実務経験 31年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科 2年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)	週時間数	3時間
学習到達目標	・企画書づくりに必要なマーケティングの基礎からプレゼンテーションの技術までを学ぶ		
評価方法 評価基準	・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・中間試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	参考配布資料 株式会社 日本実業出版社 発行「企画書づくりの方法」プリント準備		
授業外学習 の方法	授業内での配布資料の復習		
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>
授業 計画 前期	1	企画書とはどのようなものか	プリント準備 あなたのつくる企画書があなたの評価を作る 等
	2		プリント準備 優れた企画案と正しい準備で成功の企画書をつくる 等
	3	企画書づくりに必要な情報とのかかわり方	プリント準備 企画書づくりに必要な変化を読み取るための源情報 等
	4		プリント準備 ビジネスに必要な情報をインターネットから検索してみよう 等
	5		プリント準備 情報分析の第一歩は気づき情報のあらい直しから 等
	6	成功を呼ぶ企画テーマづくり	プリント準備 稀代キーワードを上手く活用して、ヒットの企画書をつくる 等
	7		プリント準備 ターゲットに注目して、時代を先取りする企画テーマをつくる 等
	8		プリント準備 生活向上型の企画テーマも発想の転換でヒットを生み出す 等
	9	受け手をうならせる企画案をつくろう	プリント準備 企画書を生かすも殺すも企画案の出来次第 等
	10		プリント準備 ヒットの企画案の基本になるのは商品コンセプト 等
	11		プリント準備 クリエイティブな発想でコンセプトを商品化しよう
	12	中間試験	試験問題準備
	13	中間試験フィードバック / 企画案のための「調査」のポイント	プリント準備 あなたの私的な仮説は「調査」によって、公的な根拠を獲得する
	14	企画案のための「調査」のポイント	プリント準備 仮説どおりの評価が得られるのか、コンセプトをチェックする 等
	15		プリント準備 ターゲットが心惹かれる訴求ポイントが打ち出せているか 等
	16	企画書を書き出そう	プリント / PC準備 通る企画書は最初の「つかみ」が肝心 / 卒業制作の企画書を考える 等
	17		プリント / PC準備 背景、企画テーマ、全体構成の3つで、序論をつくろう 等
	18		プリント / PC準備 背景状況説明の流れを受けて、企画テーマの揭示をしよう 等
	19		プリント / PC準備 伝えたいポイントを受け手に復習させるための結論づくり 等
	20		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

## 授業計画(シラバス)

科目名	デザインコース(商品企画)		指導担当者名	大島 成也
実務経験	ファッションデザイナー 実務経験 31年			実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科 2年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)		週時間数	3時間
学習到達目標	・企画書づくりに必要なマーケティングの基礎からプレゼンテーションの技術までを学ぶ			
評価方法 評価基準	・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・中間試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する			
使用教材	参考配布資料 株式会社 日本実業出版社 発行「企画書づくりの方法」プリント準備			
授業外学習 の方法	授業内での配布資料の復習			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画  後 期	1	ビジュアルな企画書はこうつくる	プリント / PC準備 説得力のある企画書には、ビジュアル表現技術は欠かせない 等	
	2		プリント / PC準備 企画書づくりに大切なコトバの表現技術を確認しておこう 等	
	3		プリント / PC準備 マップを使って、あなたの企画の有望性をロジカルに表現しよう 等	
	4	パソコン活用の企画書づくり	プリント / PC準備 Power Pointでビジュアルな企画書づくりもこんなに簡単 等	
	5		プリント / PC準備 プレゼンテーションに便利なスライド一覧や発表者用資料 等	
	6	企画を通すプレゼンテーション	プリント / PC準備 綿密な準備がプレゼンテーションを成功させる 等	
	7		プリント / PC準備 見せ方次第で、プレゼンテーションの成功・不成功が決まる 等	
	8	卒業制作の企画書を作成してみよう	プリント / PC準備 情報収集 / 企画テーマづくり 等	
	9		プリント / PC準備 企画案の作成 / 企画案の調査 等	
	10		プリント / PC準備 企画書作成 等	
	11		プリント / PC準備 企画書作成 / プレゼンテーション準備	
	12	プレゼンテーション	プリント / PC準備 発表	
	13			
	14			
	15			
	16			
	17			
	18			
	19			
	20			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

## 授業計画(シラバス)

科目名	デザインコース(ファッション造形)	指導担当者名	笹原 和加子	
実務経験	パタンナー 実務経験 5年		実務経験: 有	
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科 2年	
授業方法	講義:	演習:◎	実習:○ 実技:	
時間数(通年)	180時間(前後期合わせて)	週時間数	6時間	
学習到達目標	・1年時に学んだ服作りに関する基本的な知識や技術、応用を身に付ける			
評価方法 評価基準	・出席 ・授業態度 ・提出課題 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する			
使用教材	テキスト 学校法人文化学園 文化出版局 発行「服飾造形の基礎」、			
授業外学習 の方法				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 前期	1	シャツ制作	デザイン発想	
	2	シャツ制作	パターン制作	
	3	シャツ制作	素材順義	
	4	シャツ制作	縫製	
	5	スカート制作	デザイン発想	
	6	スカート制作	パターン制作	
	7	スカート制作	素材順義	
	8	スカート制作	縫製	
	9	ファッションショーの制作パターン	デザイン・パターン・素材・縫製・リメイク	
	10	ファッションショーの制作パターン	デザイン・パターン・素材・縫製・リメイク	
	11	ファッションショーの制作パターン	デザイン・パターン・素材・縫製・リメイク	
	12	ファッションショーの制作パターン	デザイン・パターン・素材・縫製・リメイク	
	13	ファッションショーの制作パターン	デザイン・パターン・素材・縫製・リメイク	
	14	ファッションショーの制作パターン	デザイン・パターン・素材・縫製・リメイク	
	15	ファッションショーの制作パターン	デザイン・パターン・素材・縫製・リメイク	
	16	ファッションショーの制作パターン	デザイン・パターン・素材・縫製・リメイク	
	17	ファッションショーの制作パターン	デザイン・パターン・素材・縫製・リメイク	
	18	ファッションショーの制作パターン	デザイン・パターン・素材・縫製・リメイク	
	19	期末試験		
	20	プレゼン		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

## 授業計画(シラバス)

科目名	デザインコース(ファッション造形)	指導担当者名	笹原 和加子
実務経験	パタンナー 実務経験 5年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科 2年
授業方法	講義:	演習:◎	実習:○ 実技:
時間数(通年)	180時間(前後期合わせて)	週時間数	6時間
学習到達目標	ジャケット・パンツ・コートなどのアウターのパターンから縫製を繰り返し行い、素材感や季語ごちなどを学ぶ。 コンテストや企業連携を優先的に行う		
評価方法 評価基準	・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・中間試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	テキスト 株式会社 技術評論社 発行 「Illustrator 操作とデザインの教科書」 / 「Photoshop 操作とデザインの教科書」		
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと ・授業内で行った操作の復習		
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>
授業計画 前期	1	ドレーピング基礎知識・技術の習得	身頃原形準備
	2	ドレーピング基礎知識・技術の習得	ボデーライン入れ(BL.WL.HL.CF.CB.肩線)
	3	ドレーピング基礎知識・技術の習得	ボデーライン入れ(プリンセスL.脇線.襟割り他)、ドレーピング地直し
	4	タイトスカート知識・技術の習得	SK原形用シーチング準備(赤毛入・地直し)
	5	袖付け縫製	OPトルソー:袖・身頃・SK縫合せレクチャー 実習
	6	ジャケットドレーピング基礎知識・技術の習得	SK原形:ドレーピングレクチャー・実習
	7	ジャケットドレーピング基礎知識・技術の習得	SK原形:ドレーピングレクチャー・実習
	8	ジャケットドレーピング基礎知識・技術の習得	SK原形:トレースレクチャー・実習
	9	ジャケットドレーピング基礎知識・技術の習得	SK原形:Pチェック,ピン打ちレクチャー・実習
	10	ジャケットドレーピング基礎知識・技術の習得	身頃原形:ドレーピングレクチャー・実習
	11	ジャケットドレーピング基礎知識・技術の習得	身頃原形:トレースレクチャー・実習
	12	ドレーピング基礎知識・技術の習得	身頃原形:トレースレクチャー・実習
	13	ドレーピング基礎知識・技術の習得	身頃原形:Pチェック,ピン打ちレクチャー・実習
	14	ドレーピング基礎知識・技術の習得	ダーツ展開:ドラフティング板書(6種)・実習
	15	ドレーピング基礎知識・技術の習得	ダーツ展開:ドラフティング板書(6種)・実習
	16	スカート応用の知識・技術の習得	フレア-SK展開:ドラフティング板書・実習
	17	スカート応用の知識・技術の習得	フレア-SK展開:ドラフティング(実物)レクチャー・実習、課題:地直し(フレア-SK用)
	18	スカート応用の知識・技術の習得	フレア-SK展開:Pチェック,ピン打ちレクチャー 実習
	19	セットアップ制作	タイトスカート展開
	20	セットアップ制作	タイトスカート展開
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			



## 授業計画(シラバス)

科目名	ビジネスコース(スタイリスト)		指導担当者名	佐藤 雅之	
実務経験	アパレルメーカー 実務経験 10年			実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科 2年		
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)		週時間数	3時間	
学習到達目標	実践的なスタイリスト実習				
評価方法 評価基準	外部連携のスタイリングをシーズンとテーマ別にセレクトする。				
使用教材	ショッピングリサーチ。カメラ				
授業外学習 の方法	事前準備、計画を予習する				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画  前期	1	オリテ	テキストの沿って雑誌を使用		
	2	スタイリスト概論	イメージのレクチャー		
	3	テキスタイルスタイリング	Map制作		
	4	カラースタイリング	Map制作		
	5	メイクスタイリング	Map制作		
	6	セールスプロモーション	テキストの沿って雑誌を使用		
	7	広告とは	イメージのレクチャー		
	8	広告代理店業	Map制作		
	9	プレス	Map制作		
	10	出版	Map制作		
	11	VP	テキストの沿って雑誌を使用		
	12	スタンドVP	イメージのレクチャー		
	13	ウィンドーVp	Map制作		
	14	展示会	Map制作		
	15	照明効果	Map制作		
	16	ライフスタイル	テキストの沿って雑誌を使用		
	17	クラスター分類1	イメージのレクチャー		
	18	クラスター分類2	Map制作		
	19	ファッションショー企画	Map制作		
	20	リサーチ			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

## 授業計画(シラバス)

科目名	ビジネスコース(スタイリスト)	指導担当者名	佐藤 雅之
実務経験	アパレルメーカー 実務経験 10年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科 2年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)	週時間数	3時間
学習到達目標	カラー、シルエット、素材などを学びながら、イメージに合ったスタイリングを提案できる人材を目標にする		
評価方法 評価基準	・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・中間試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	ファッション販売(雑誌)スタイリストテキスト		
授業外学習 の方法	リサーチでセンスを磨く		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画  後 期	1	企業連携のファッションショー	商品の借り方。始末の仕方を学ぶ
	2	準備	商品の借り方。始末の仕方を学ぶ
	3	コーデディネート商品セレクト	商品の借り方。始末の仕方を学ぶ
	4	コーデディネート商品セレクト	ショップをリサーチ
	5	コーデディネート商品セレクト	ショップをリサーチ
	6	コーデディネート商品セレクト	ショップに直接依頼
	7	モデル・運営・曲をセレクト	モデルウォーキング
	8	モデル・運営・曲をセレクト	モデルウォーキング
	9	モデル・運営・曲をセレクト	モデルウォーキング
	10	Fショーの運営	
	11	まとめ	
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

## 授業計画(シラバス)

科目名	ビジネスコース(接客マナー)		指導担当者名	水野 直美	
実務経験	秘書・キャビンアテンダント実務経験10年			実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科 2年		
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)		週時間数	3時間	
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手に満足を提供する行動「接客」を学ぶ</li> <li>・ビジネスの場でのサービス接客というものの具体的な考え方、行動の仕方、口の利き方などを学ぶ</li> <li>・サービス接客実務検定3級の合格を目指す</li> </ul>				
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・中間試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する</li> </ul>				
使用教材	テキスト 早稲田教育 出版「サービス接客検定3級」、授業時間内の資料配布				
授業外学習 の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと ・授業内で行う練習問題の復習</li> </ul>				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
1 画	1	オリエンテーション	テキスト / プリント 準備 サービススタッフの基本を考える		
	2	一般常識	テキスト / プリント 準備 尊敬語 / 謙譲語 / 丁寧語の使い分け		
	3	一般常識	テキスト / プリント 準備 尊敬語 / 謙譲語 / 丁寧語 確認テスト / フィードバック		
	4	サービススタッフの資質 必要とされる要件	テキスト / プリント 準備 明るさと誠実さを、備えている		
	5	サービススタッフの資質 必要とされる要件	テキスト / プリント 準備 適切な判断と表現を、心得ている		
	6	サービススタッフの資質 必要とされる要件	テキスト / プリント 準備 身だしなみを心得ている		
	7	確認テスト	テキスト / 確認テスト 準備 確認テスト / フィードバック		
	8	サービススタッフの資質 従業要件	テキスト / プリント 準備 良識を持ち、素直な態度がとれる		
	9	サービススタッフの資質 従業要件	テキスト / プリント 準備 適切な行動と協調性が期待できる		
	10	サービススタッフの資質 従業要件	テキスト / プリント 準備 清潔感について、理解できる		
	11	サービススタッフの資質 従業要件	テキスト / プリント 準備 忍耐力のある行動が期待できる		
	12	確認テスト	テキスト / 確認テスト 準備 確認テスト / フィードバック		
	13	前期中間試験	試験問題 準備		
	14	中間試験フィードバック	テキスト / 期末試験問題 準備		
	15	専門知識 サービス知識	テキスト / プリント 準備 サービスの意義を、一応、理解できる		
	16	専門知識 サービス知識	テキスト / プリント 準備 サービスの機能を、一応、理解できる		
	17	専門知識 サービス知識	テキスト / プリント 準備 サービスの種類を知っている		
	18	専門知識 従業知識	テキスト / プリント 準備 商業用語が理解できる		
	19	専門知識 従業知識	テキスト / プリント 準備 経済用語が理解できる		
	20	確認テスト	テキスト / 確認テスト 準備 確認テスト / フィードバック		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

## 授業計画(シラバス)

科目名	ビジネスコース(接客マナー)		指導担当者名	水野 直美	
実務経験	秘書・キャビンアテンダント実務経験10年			実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科 2年		
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)		週時間数	3時間	
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手に満足を提供する行動「接客」を学ぶ</li> <li>・ビジネスの場でのサービス接客というものの具体的な考え方、行動の仕方、口の利き方などを学ぶ</li> <li>・サービス接客実務検定3級の合格を目指す</li> </ul>				
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・中間試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する</li> </ul>				
使用教材	テキスト 早稲田教育 出版「サービス接客検定3級」、授業時間内の資料配布				
授業外学習 の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと ・授業内で行う練習問題の復習</li> </ul>				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画  後 期	22	一般知識 社会常識	テキスト / プリント 準備 社会常識が理解できる		
	23	一般知識 社会常識	テキスト / プリント 準備 時事問題を、一応、理解している		
	24	確認テスト	テキスト / 確認テスト 準備 確認テスト / フィードバック		
	25	対人技能 人間関係	テキスト / プリント 準備 一般的に、人間関係が理解できる		
	26	対人技能 接客知識	テキスト / プリント 準備 対人心理が理解できる		
	27	対人技能 接客知識	テキスト / プリント 準備 一般的なマナーを心得ている		
	28	対人技能 接客知識	テキスト / プリント 準備 接客者としてのマナーを心得ている		
	29	対人技能 話し方	テキスト / プリント 準備 接客用語を知っている		
	30	対人技能 話し方	テキスト / プリント 準備 接客者としての基本的な話し方が理解できる		
	31	対人技能 話し方	テキスト / プリント 準備 提示、説明の仕方が理解できる		
	32	対人技能 服装	テキスト / プリント 準備 接客者としての適切な服装が理解できる		
	33	後期中間試験	試験問題 準備		
	34	中間試験フィードバック	テキスト / 期末試験問題 準備		
	35	実務技能 問題処理	テキスト / プリント 準備 問題処理について、理解できる		
	36	実務技能 環境整備	テキスト / プリント 準備 環境整備について、理解できる		
	37	実務技能 金品管理	テキスト / プリント 準備 金品管理について、理解できる		
	38	実務技能 社交業務	テキスト / プリント 準備 社交儀礼の業務について、理解できる		
	39	接客マナーのまとめ	テキスト / プリント 準備 練習問題の実施		
	19				
	20				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

## 授業計画(シラバス)

科目名	ビジネスコース(VMD)		指導担当者名	市川 美佳	
実務経験	デザイン会社制作業務 実務経験10年			実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科 2年		
授業方法	講義:	演習:◎	実習:○	実技:	
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)		週時間数	3時間	
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商空間、売り場空間の活性化を図る、流通の場で重要な手段となる視覚表現を重視した戦略・戦術であるVMDを学ぶ</li> <li>・幅広い知識と造形力、感性、時代情報を基に、専門知識・技術、アイデア、クリエイション、デザインで総合的な空間演出を学ぶ</li> </ul>				
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・中間試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する</li> </ul>				
使用教材	テキスト 学校法人 文化学園 文化出版局 発行「ディスプレイ・VP・VMD」、配布資料準備				
授業外学習 の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと</li> <li>・いろいろなショップのディスプレイを見ておく</li> </ul>				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画  前期	1	オリエンテーション / ディスプレイ・VP・VMD概論	テキスト準備	ディスプレイ・VP・VMDとは 等	
	2	ディスプレイ・VP・VMD概論	テキスト準備	ディスプレイ素材 等	
	3	照明 / 色彩	テキスト準備	光の基礎 / 色彩の基礎 等	
	4	色彩	テキスト準備	販売促進計画とテーマカラー / 流行色 等	
	5	什器、器具、マネキン、ボディ、プロップス、オブジェ	テキスト準備	什器、器具とは 等	
	6	VMDマップ演習	テキスト / PC 準備	マップ作製	
	7	商品知識	テキスト準備	アパレルアイテムの種類 等	
	8	用語と表示記号	テキスト準備	用語 / 表示記号 等	
	9	ビジュアルプレゼンテーションテクニック 基礎	テキスト準備	用具の種類とその使い方 / 構図・構成 等	
	10	ディスプレイ演習(準備)	テキスト準備	学校内のディスプレイのイメージ / 構図・構成 等	
	11	ディスプレイ演習	テキスト準備	学校内のディスプレイ 等	
	12	前期中間試験	試験問題準備		
	13	中間試験フィードバック / VPテクニック ショーイング	テキスト準備	ショーイングとは 等	
	14	ショーイング / 基礎テクニック / 応用テクニック	テキスト準備	フォールデッド / レイダウン 等	
	15	ライフスタイルと空間構成	テキスト準備	タウンウェア / スポーツウェア / フォーマルウェア 等	
	16	メンズウェア / キッズウェア	テキスト準備	メンズボディのウェアリングポイント 等	
	17	VP基礎テクニック ピンワーク	テキスト準備	ピンワーク / 基礎テクニック 等	
	18	ピンワーク演習	テキスト / ボディ 準備	ドレープ(土台布のつけ方) 等	
	19	ピンワーク演習	テキスト / ボディ 準備	ドレープ / ギャザリング 等	
	20	ピンワーク演習	テキスト / ボディ 準備	ギャザリング / タッキング 等	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

## 授業計画(シラバス)

科目名	ビジネスコース(VMD)		指導担当者名	市川 美佳	
実務経験	デザイン会社制作業務 実務経験10年			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	ファッション学科 2年	
授業方法	講義:	演習:◎	実習:○	実技:	
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)		週時間数	3時間	
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商空間、売り場空間の活性化を図る、流通の場で重要な手段となる視覚表現を重視した戦略・戦術であるVMDを学ぶ</li> <li>・幅広い知識と造形力、感性、時代情報を基に、専門知識・技術、アイデア、クリエイション、デザインで総合的な空間演出を学ぶ</li> </ul>				
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・中間試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する</li> </ul>				
使用教材	テキスト 学校法人 文化学園 文化出版局 発行「ディスプレイ・VP・VMD」、授業時間内の資料配布				
授業外学習 の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと</li> <li>・いろいろなショップのディスプレイを見ておく</li> </ul>				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画  後 期	1	VP応用テクニック	テキスト準備	布地のたたみ方 / ウール / チュール 等	
	2	アパレルアイテムピンワーク	テキスト準備	スーツ / パンツ+ジャケット / ワンピース 等	
	3	アパレルアイテムピンワーク	テキスト準備	パンツ / パンツスーツ / ジャケット+スカート 等	
	4	ゆかた / 民族衣装から	テキスト準備	サリータイプ / カンガタイプ / パレオタイプ 等	
	5	メンズ素材の扱い / 広告・宣伝・販促としてのピンワーク	テキスト準備	異素材 / 造形的なピンワーク 等	
	6	VPデザイン:販売促進	テキスト準備	クリスマスギフト / ラッピングとリボンの掛け方・結び方 等	
	7	VPデザイン:販売促進	テキスト準備	クリスマスギフト / ラッピングとリボンの掛け方・結び方 等	
	8	VPデザイン / ディスプレイ演習(準備)	テキスト準備	クリスマスディスプレイのイメージ / 構図・構成 等	
	9	ディスプレイ演習	テキスト準備	学校内のクリスマスディスプレイ	
	10	後期中間試験	試験問題準備		
	11	中間試験フィードバック / ラッピング検定 対策	テキスト準備	ラッピングとリボンの掛け方・結び方 等	
	12	ラッピング検定 対策	テキスト準備	ラッピングとリボンの掛け方・結び方 等	
	13	VPテクニック インテリア関連・生活雑貨関連	テキスト準備	観葉植物 / ウインドートリートメント 等	
	14	テーブルウェア	テキスト準備	テーブルセッティング / 食器 等	
	15	キッチンウェア	テキスト準備	フォーピークスのたたみ方 等	
	16	タオル、バス・トイレタリー	テキスト準備	タオルの基礎テクニックと構成 等	
	17	VPテクニック インテリア関連・生活雑貨関連	テキスト準備	化粧品 / ステーションナリー / クリーングッズ / ガーデニンググッズ	
	18	ディスプレイ・VP・VMDの実際	テキスト準備	ディスプレイ・VP(ウインドーディスプレイ)	
	19				
	20				
<b>履修上の留意点</b> 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					